

柏市健康増進計画
平成28年度 進捗状況報告書

平成29年8月
柏市

目次

1	栄養・食生活	1
2	身体活動・運動	8
3	休養・こころの健康	15
4	喫煙	20
5	飲酒	24
6	歯・口腔の健康	26
7	糖尿病	34
8	循環器疾患	38
9	がん	42

表の見方	【事業名】	* : 事業名, 事業概要, 指標が全て再掲であるもの
		※ : 事業名は再掲だが, 事業概要または指標が異なっているもの
	【ライフステージ】	○ : 該当
		△ : 一部該当

1. 栄養・食生活

(1)適正体重を維持するための知識の普及																		
①成人女性のやせ(20歳代)[BMI 18.5未満]及び成人男性の肥満[BMI 25.0以上]の減少																		
②児童・生徒の肥満[標準体重の+20%以上]の減少																		
③体重の変化を気にしている人(成人)の割合の増加																		
所管課	事業名	事業概要 (対象者・内容等)	連携機関	期待する効果	ライフステージ						実績値 (実施回数・参加者数・参加率等)	平成28年度取り組みの成果、今後の課題と考察及び平成29年度の取り組みについて	平成30年度の方向性	委員の評価・アドバイス				
					乳幼児期	学童期	思春期	成年期	社年期	高齢期								
保健所 地域健康づくり課	給食施設指導事業	①個別指導(各施設を個別に巡回し、現地指導を実施。電話、来所による相談) ②集団指導(テーマに応じ職種別、施設種類別に研修会を開催) ③調査報告(各給食施設の運営・栄養管理状況を把握するため年2回調査実施)	他課 (学校保健課・保育運営課) 柏市保健所管内集団給食研究会	・肥満及びやせの割合の減少 ・啓発媒体活用増加	△	△	△	○	○	△	給食施設指導件数					<ul style="list-style-type: none"> ・平成26年度より各施設における肥満及びやせの割合を把握している。平成28年度と平成26年度の結果を比較し、国基準の+5%以上の施設に対し、改善に向けての計画を立て実施できるよう指導・助言した。 ・3年分のデータを活用してクロス集計し、多方面から改善策を検討する。 ・喫食者への直接的な指導が難しい施設で活用できる媒体を作成し、個別指導を行うきっかけづくりの支援を引き続き行う。 	<ul style="list-style-type: none"> ・各施設の割合変動を確認し、増加傾向にある施設や、該当割合が多い施設における改善対策の指導 ・助言を継続して行う ・新たな改善案を検討し、積極的に取り組んでいく。 	
											H24	H25	H26	H27	H28			
											20件	34件	22件	35件	29件			
											「肥満に該当する者の割合」の増加施設割合(国基準：H26年度比+5%以上)							
											—	—	—	1.0%	1.0%			
											「やせに該当する者の割合」の増加施設割合(国基準：H26年度比+5%以上)							
											—	—	—	1.0%	1.0%			
											「肥満に該当する者の割合」の増加施設割合(各施設における前年度比増)							
											—	—	—	47.0%	41.0%			
											「やせに該当する者の割合」の増加施設割合(各施設における前年度比増)							
—	—	—	39.0%	37.0%														
学校教育 部 学校保健課	学校給食提供事業 (小学校)	給食を生きた教材として、児童を対象に適切な摂取量や、成長に必要な栄養分を習得する。 また、養護教諭と連携し、咀嚼の重要性や栄養バランスの取れた食事、栄養と運動の両面を意識することで、健康な生活習慣を習得するための食育事業を行う。	学校歯科医	定期健康診断における肥満【標準体重の+20%以上】の人数の減少	○						給食実施回数(平均)					定期健康診断において肥満度+20%以上の割合を減らすことが出来た。 平成29年度においても、給食を生きた教材として、児童を対象に適切な摂取量や、成長に必要な栄養量について指導していく。 学校栄養職員・栄養教諭と養護教諭とが連携し、健康な生活習慣を習得するための食育の授業等を行う。 平成28年度より、「やせに該当する者の割合」を、指標として追加する。	平成28年度に取り組んだ歯科医と連携した「よく噛んで食べる」といこと」の授業は効果的であり、多くの学校でも実践できるよう、指導案の公開や授業公開を積極的に実施するよう働きかける。	
											H24	H25	H26	H27	H28			
											185回	185回	185回	185回	185回			
											対象者数							
											21,465人	21,430人	21,448人	21,525人	21,690人			
											肥満【標準体重の+20%以上】の人数							
											1,479人	1,432人	1,430人	1,396人	1,506人			
											肥満【標準体重の+20%以上】の割合							
											6.9%	6.7%	6.7%	6.5%	6.9%			
											やせ【標準体重の-20%以上】の人数							
	258人	347人	262人	284人														
やせ【標準体重の-20%以上】の割合																		
	1.2%	1.6%	1.2%	1.3%														

所管課	事業名	事業概要 (対象者・内容等)	連携機関	期待する効果	ライフステージ						実績値 (実施回数・参加者数・参加率等)	平成28年度取り組みの成果、今後の課題と考察及び平成29年度の取り組みについて	平成30年度の方向性	委員の評価・アドバイス																																			
					乳幼児期	学童期	思春期	成年期	壮年期	高齢期																																							
学校教育部 学校保健課	学校給食提供事業 (中学校)	給食を生きた教材として、生徒を対象に適切な摂取量の体得、成長に必要な栄養分を習得する。 また、養護教諭と連携し、咀嚼の重要性や栄養バランスの取れた食事、栄養と運動の両面を意識することで、健康な生活習慣を習得するための食育事業を行う。	学校歯科医	定期健康診断における肥満【標準体重の+20%以上】の人数の減少									<p>給食実施回数(平均)</p> <table border="1"> <tr> <td>H24</td> <td>H25</td> <td>H26</td> <td>H27</td> <td>H28</td> </tr> <tr> <td>180回</td> <td>180回</td> <td>180回</td> <td>180回</td> <td>180回</td> </tr> </table> <p>対象者数</p> <table border="1"> <tr> <td>9,823人</td> <td>9,886人</td> <td>9,909人</td> <td>9,936人</td> <td>9,939人</td> </tr> </table> <p>肥満【標準体重の+20%以上】の人数</p> <table border="1"> <tr> <td>715人</td> <td>746人</td> <td>778人</td> <td>704人</td> <td>719人</td> </tr> </table> <p>肥満【標準体重の+20%以上】の割合</p> <table border="1"> <tr> <td>7.3%</td> <td>7.5%</td> <td>7.9%</td> <td>7.1%</td> <td>7.2%</td> </tr> </table> <p>やせ【標準体重の-20%以上】の人数</p> <table border="1"> <tr> <td>251人</td> <td>295人</td> <td>247人</td> <td>231人</td> </tr> </table> <p>やせ【標準体重の-20%以上】の割合</p> <table border="1"> <tr> <td>2.5%</td> <td>3.0%</td> <td>2.5%</td> <td>2.3%</td> </tr> </table>	H24	H25	H26	H27	H28	180回	180回	180回	180回	180回	9,823人	9,886人	9,909人	9,936人	9,939人	715人	746人	778人	704人	719人	7.3%	7.5%	7.9%	7.1%	7.2%	251人	295人	247人	231人	2.5%	3.0%	2.5%	2.3%	<p>定期健康診断において肥満度+20%以上の割合を減らすことが出来た。</p> <p>平成29年度においても、給食を生きた教材として、生徒を対象に適切な摂取量や、成長に必要な栄養量について指導していく。</p> <p>学校栄養職員・栄養教諭と養護教諭とが連携し、健康な生活習慣を習得するための食育の授業等を行う。</p> <p>平成28年度より、「やせに該当する者の割合」を、指標として追加する。</p>	肥満の割合が増える傾向にある時期で、ダイエットへの意識も高まってくる。痩身も含め、適正な体重管理ができる正しい知識を指導していく。	
					H24	H25	H26	H27	H28																																								
					180回	180回	180回	180回	180回																																								
					9,823人	9,886人	9,909人	9,936人	9,939人																																								
					715人	746人	778人	704人	719人																																								
					7.3%	7.5%	7.9%	7.1%	7.2%																																								
					251人	295人	247人	231人																																									
					2.5%	3.0%	2.5%	2.3%																																									
保健福祉部 福祉政策課 福祉活動推進課	柏フレイル予防プロジェクト2025	「フレイル(虚弱)」という概念を新たに取り入れ、市民、関係団体、学識経験者、市による「推進委員会」を設置・運営しながら、健康づくり事業の効果的な運動と地域を基盤とした市民主体の活動を推進	医師会、歯科医師会、薬剤師会、東京大学、ふるさと協議会、社会福祉協議会、民生委員児童委員、柏市民健康づくり推進員、スポーツ推進委員、東葛北部栄養士会、リハビリテーション連絡会、地域包括支援センターなど	市民の意識・行動変容(栄養、身体活動、社会参加の促進)									<p>推進委員会実施回数</p> <table border="1"> <tr> <td>H24</td> <td>H25</td> <td>H26</td> <td>H27</td> <td>H28</td> </tr> <tr> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>1回</td> <td>3回</td> </tr> </table>	H24	H25	H26	H27	H28	-	-	-	1回	3回	<p>・柏フレイル予防プロジェクト2025推進委員会において、「フレイル予防の概念の下、「三位一体(栄養・運動・社会参加)」の活動を通じた健康で充実した生活を営める健康長寿のまちを目指す」とした目標を掲げ、フレイル予防によるまちづくりの実現を目指す。</p> <p>・H29年度は引き続きフレイルチェックを基盤として市民の意識(気づき)、行動変容を創出し、健康づくり・介護予防の地域展開を図っていく。</p> <p>・庁内連携体制については、健康づくり業務庁内連絡会等を活用し、施策の横断的な具体連携を図っていく。</p>	<p>・フレイル予防によるまちづくりの実現を目指し、柏市、地域活動団体、職能団体が一体、運動した活動を実践していく。</p> <p>・関係部署等の計画との運動による一体的な施策の実践を図っていく。</p>																								
					H24	H25	H26	H27	H28																																								
-	-	-	1回	3回																																													

所管課	事業名	事業概要 (対象者・内容等)	連携機関	期待する効果	ライフステージ						実績値 (実施回数・参加者数・参加率等)					平成28年度取り組みの成果、今後の課題と考察及び平成29年度の取り組みについて	平成30年度の方向性	委員の評価・アドバイス							
					乳幼児期	学童期	思春期	成年期	壮年期	高齢期	H24	H25	H26	H27	H28										
保健福祉部 福祉活動推進課	フレイル予防事業	主に高齢者に対するフレイル(介護予防)事業のうち、栄養をテーマとしたプログラムについて、管理栄養士等が講座を行う。	東葛北部在宅栄養士会、地域包括支援センターなど	市民の意識・行動変容(栄養の改善)								フレイル予防講座(栄養)の参加者数					柏フレイル予防プロジェクト2025推進委員会と連動し、平成28年度より取り組みを開始した。楽しく学べるような効果的なプログラムの考案が課題だが、関係機関と連携し、平成29年度も引き続き実施していく。	介護予防の拠点施設である介護予防センターのほか、市内全域に展開できるよう、地域包括支援センター主催の教室や出前講座等においても実施する。							
															H24	H25				H26	H27	H28			
保健所 成人健診課 市民生活部 保険年金課	健康づくり相談	健康診査の結果により、生活習慣改善の必要なかたに、保健師・管理栄養士が個別相談を行い、個人の生活に即した具体的なアドバイスを行う。		健康診査の結果により、生活習慣改善の必要なかたに、保健師・管理栄養士が個別相談を行い、個人の生活に即した具体的なアドバイスを行う								相談者数					希望者の相談内容に即してアドバイスを行った。 平成29年度からは保険年金課で特定健診および75歳以上の健診受診者の事後フォローとして継続実施する。	継続実施予定							
市民生活部 保険年金課	柏市国民健康保険 特定保健指導	特定健診の結果よりメタボリックシンドロームのリスクのある対象者を抽出し、6か月間の生活習慣改善のための特定保健指導を実施。	・柏市医師会 ・JA(ちば東葛、東葛ふたば、いちかわ) ・千葉県厚生農業共同組合連合会	生活習慣病の発症及び重症化の予防								特定保健指導実施率					メタボリックシンドローム該当者及び予備群の割合は男性の60歳代以上で増加していることから、通知や電話で特定保健指導の利用勧奨を行い、指導実施率は向上した。	医療機関や衛生部門等、関係部署との連携により更に生活習慣病の発症、重症化予防の取り組みを推進する。							

(2)野菜の摂取量の増加																		
④野菜摂取量の増加の割合(成人)																		
所管課	事業名	事業概要 (対象者・内容等)	連携機関	期待する効果	ライフステージ						実績値 (実施回数・参加者数・参加率等)					平成28年度取り組みの成果、今後の課題と考察及び平成29年度の取り組みについて	平成30年度の方向性	委員の評価・アドバイス
					乳幼児期	学童期	思春期	成年期	壮年期	高齢期	H24	H25	H26	H27	H28			
保健所 地域健康づくり課	給食施設指導事業 (※)	①個別指導(各施設を個別に巡回し、現地指導を実施。電話、来所による相談) ②集団指導(テーマに応じ職種別、施設種類別に研修会を開催) ③調査報告(各給食施設の運営・栄養管理状況を把握するため年2回調査実施)	他課 (学校保健課・保育運営課) 柏市保健所管内集団給食研究会	・給食施設の食品構成における野菜摂取量の増加 ・野菜料理の残渣量の減少 ・ヘルシーメニューの提供増加 ・啓発媒体活用増加	△	△	△	○	○	△	給食施設指導件数					・個別巡回指導時に、栄養教育未実施の施設に対し、野菜プラスひと皿の啓発資料を提供した。今後も啓発を継続する。 ・集団指導として、給食施設従事者研修会において、栄養管理について説明し、適切な野菜摂取量を確保できる献立とするよう、指導・助言していく。 ・今年度は新たに、個別巡回において、食品構成や野菜摂取量についての聞き取りに力を入れ、必要に応じて助言していく。	・個別巡回で聞き取りをした野菜摂取量について考察し、新たな改善案や啓発案を検討する。	
											20件	34件	22件	35件	29件			
保健所 地域健康づくり課	啓発事業	イベント等の中で運動、食、タバコ等健康に関する啓発を実施。一般市民を対象とし、幅広いテーマについての啓発を行う。	庁内関係各課 柏市民健康づくり推進員 各種団体及び企業関係	幅広いライフステージの市民を対象にポピュレーションアプローチをすることで、健康に関する気づきの場を作る。	○	○	○	○	○	○	啓発実施者数(全数)					健康づくりに関するリーフレットを作成し、伝えたいことを絞って実施した。また、他課とも連携をし、それぞれの場を生かした啓発を行った。29年度も同様に行っていきたい。	・増進計画の目標値達成に近づける内容の啓発を行っていく	
											H24	H25	H26	H27	H28			
											-	-	6,109人	5,235人	4,869人			
											啓発実施者数(栄養・食生活)							
H24	H25	H26	H27	H28														
-	-	1,681人	365人	1,076人														

所管課	事業名	事業概要 (対象者・内容等)	連携機関	期待する効果	ライフステージ						実績値 (実施回数・参加者数・参加率等)					平成28年度取り組みの成果、今後の課題と考察及び平成29年度の取り組みについて	平成30年度の方向性	委員の評価・アドバイス
					乳幼児期	学童期	思春期	成年期	壮年期	高齢期	①登録店舗数/②参加者数							
							H24	H25	H26	H27	H28							
保健所 地域健康づくり課	栄養改善事業	平成29年度新規事業 ①「野菜を食べよう柏協力店」事業 ②「柏シェフ'Sキッチン」事業	①柏市保健所管内調理師会 市内関係各課 ②柏市保健所管内調理師会 市内の大学 市内関係各課	①野菜を食べることのできる食の環境整備とする。 ②主に20歳代、30歳代の若い世代に周知をし、食に関心を持たせる場とすること。また、友達づくりの場とする。	△	△	△	○	△	△	①登録店舗数/②参加者数					①平成29年度は、食品衛生講習会、広報かしわ、柏市ホームページの活用、調理師会理事会等の協力を得ながら周知を図り、登録店舗を増やすことが課題である。 ②平成29年度は、シェフを講師に迎え、野菜120g以上含まれる調理実習を2回実施。 野菜の美味しさを知らせることと併せ、料理をするきっかけづくりと、友達づくりの場とする。 広報かしわ、柏市ホームページ、調理師会、大学の協力による周知を行う。	①店舗数の増加。 ②参加者数の増加。	
											-	-	-	-	-			
経済産業部 農政課	食の安全・安心対策推進事業	市職員が農産物をサンプリングし、放射性物質検査を行う。また、検査結果についてホームページや広報などを通じて公表。	①千葉県 ②㈱アトックス 技術開発センター	食の安全・安心を確保する。				○	○		検査品目数・検体数					消費者の不安を取り除き、安心して地元の農産物を購入できるよう継続的に検査を実施していく。また、検査の頻度等に関しては、放射性物質による影響範囲を見極めながら、費用と効果のバランスを配慮しながら実施していく。	検査や生産者への助言等を通じて、引き続き食の安全安心を確保していく。また適宜、情報を発信することで、風評被害の防止に取り組んでいく。	
											H24	H25	H26	H27	H28			
							106品目 532検体	99品目 412検体	63品目 213検体	52品目 239検体	48品目 133検体							

(3)朝食を意識した、バランスのよい食生活の普及

⑤朝食の欠食率の減少

⑥食事のバランスのよい割合(成人)の増加

所管課	事業名	事業概要 (対象者・内容等)	連携機関	期待する効果	ライフステージ						実績値 (実施回数・参加者数・参加率等)	平成28年度取り組みの成果、今後の課題と考察及び平成29年度の取り組みについて	平成30年度の方向性	委員の評価・アドバイス				
					乳幼児期	学童期	思春期	成年期	壮年期	高齢期								
保健福祉部 福祉活動推進課	栄養改善事業	国が定めた「2次予防事業対象者把握事業」により選定された「低栄養ハイリスク者」の中から、栄養個別相談の希望者に対して、在宅に訪問し、食生活のアセスメントから、栄養指導・栄養相談・調理実習の実践を経て(6回訪問)、適正体重を保ち、要介護状態の予防を図るもの	①東葛地区在宅栄養士会 ②包括支援センター	低栄養の改善						○	栄養改善事業参加状況							
											H24	H25	H26	H27	H28			
											対象者数							
											232人	269人	349人	廃止	廃止			
参加者数																		
6人	9人	7人	廃止	廃止														
保健所 地域健康づくり課	母子保健食育	<ママパパ学級・ママパパクッキング> 妊娠期の食生活支援 <離乳食教室> 離乳食のすすめ方 <母と子のつどい・歯ピカ・幼児健診> 栄養講話と個別相談		「バランスのとれた食事を規則正しくとる健康的な食習慣」を定着させるため、母子保健サービスを活用し、健康づくりの意識づけをする。	○				△		3歳児健康診査における主食・主菜・副菜をそろえた朝食の率					朝食の内容をみると、主食・主菜・副菜をそろえた割合は大きな変化は見られなかった。 妊娠期から幼児期の食への関心が高まる時期に、各事業を通じて家族の健康づくりのためのバランスの良い食事について啓発を行い意識付けができた。 ニーズの高い離乳期の支援強化の為、H28年度より後期離乳食教室を開始した。定員に対する参加割合は約9割であり、満足度も高かった。引き続き、切れ目ない支援を実施していく。	引き続き、各事業を通じてバランスのとれた食事について啓発をしていく。	
											H24	H25	H26	H27	H28			
											—	—	28.0%	22.8%	23.6%			
保健所 地域健康づくり課	栄養改善事業(※)	・栄養士業務連絡会(栄養改善・健康増進等の支援の推進を検討) ・健康ちば協力店登録推進(健康づくりの取り組みを実施する飲食店の登録) ・栄養関係団体育成(栄養・健康づくりを担う関係団体の育成) ・講演会の企画(食育推進研修会、給食施設従事者研修会、千葉県調理師講習会講師)	・柏市保健所管内調理師会 ・柏市保健所管内集団給食研究会 ・柏市医師会	関係課、関係団体との連携により食事のバランスのよい割合が増加	△	△	△	△	△	△	研修会実施回数					研修会等の機会を活用し、食に関わる団体に対し、柏市民の食の課題を共有しています。 各施設において、バランスのとれた食事の提供により、食の環境整備に取り組みます。	継続し、関係各課、関係団体との協働により、食の環境整備に取り組んでいく。	
											H24	H25	H26	H27	H28			
											3回	3回	3回	3回	3回			

所管課	事業名	事業概要 (対象者・内容等)	連携機関	期待する効果	ライフステージ						実績値 (実施回数・参加者数・参加率等)	平成28年度取り組みの成果、今後の課題と考察及び平成29年度の取り組みについて	平成30年度の方向性	委員の評価・アドバイス				
					乳幼児期	学童期	思春期	成年期	壮年期	高齢期								
こども部 保育運営課	クッキング保育	園児が種まきをする前に、豊作を願い集会を開き、栽培～収穫への意欲を育てる。保育園の園児が、作物を栽培し、育てた作物と同じ野菜を利用し、5歳児がクッキングを行い食べる。	各公立保育園の保育士、調理員と保育運営課栄養士との連携※一部の保育園では、地域住民との連携有り。	自分たちで育てたものを、友達と一緒に調理し、食べる喜びを味わうことで、食に関心を持つ。							クッキング保育実施園数					園児が自分たちで栽培収穫した野菜と同じ種類の野菜を使用することで、栽培から調理までを関連付けて取り組むことができた。また、苦手の野菜など、調理方法によって食べられることに気が付き、バランスのよい食生活に向けた、きっかけ作りができた。クッキング保育の実施後は家庭でも料理をつくるなど、食への興味が広がった。園児が日々の給食においても、より関心がもてるよう調理員と交流や、また、家庭での会話や知識の普及につながるよう食育を進めていく。また、給食日より等レシピを紹介し保護者へ情報発信をしていく。	園児へ食育を通して、家庭での会話や知識の普及につながるようなクッキング保育を継続していく。	
											H24	H25	H26	H27	H28			
生涯学習部 中央公民館	成人教育事業 「食育講座」	食に関する課題を踏まえ、講義や調理実習などをとおして、食に関する知識や関心を高める。	—	豊かで健全な食生活を実践できる							講座実施状況					男性料理初心者を対象に、講義と実習をセットにした講座を実施した。具体的で取り組みやすい内容に満足の声が多かった。内容を充実させ、引き続き実施していく。	継続実施予定	
											H24	H25	H26	H27	H28			
					実施回数					2回	2回	2回	2回	2回				
					参加者数					45人	42人	59人	26人	24人				
学校教育 部 学校保健課 こども部 保育運営課 保健所 地域健康づくり課	子ども健康プロジェクト	子ども健康プロジェクトの一環として、柏市の学校給食のメニューを学校給食クックパッドに掲載。パソコンや携帯からでもアクセスして、レシピを確認することができ、バリエーションに富んだ給食メニューを家庭で作ることができる。	学校保健課、保育運営課、地域健康づくり課の栄養士が連携し掲載。	簡単でバリエーションに富んだ人気のある給食メニューを周知することで、調理をする意欲を高める。							年間レシピの閲覧数(年度)と月平均閲覧数					平成27年1月から毎月2レシピ程度掲載。平成28年度は学校給食を掲載。平成29年度からは、保育園給食及び離乳食を掲載し、より若い世代が活用しやすい内容として取り組む。	継続し、関係各課連携のもと、取り組んでいく。	
											H24	H25	H26	H27	H28			
											-	-	-	-	年間閲覧数 395,550件 月平均 32,962件			

2. 身体活動・運動

(1)運動習慣の定着														
①運動習慣者の割合の増加														
②20～59歳のほとんど運動していない人の割合の減少														
所管課	事業名	事業概要 (対象者・内容等)	連携機関	期待する効果	ライフステージ						実績値 (実施回数・参加者数・参加率等)	平成28年度取り組みの成果、今後の課題と考察及び平成29年度の取り組みについて	平成30年度の方向性	委員の評価・アドバイス
					乳幼児期	学童期	思春期	成年期	壮年期	高齢期				
地域づくり推進部 協働推進課	各種スポーツ教室の開催	<p><JR野球教室> 市内中学校23校の中学2年生を対象に、JR東日本野球部の選手達をコーチに招き開催</p> <p><バスケットボール教室> 市内ミニバスケットボールチームに所属している小学生を対象に日立サンロッカーズ/JX-ENEOSサンフラワーズの選手をコーチに招き開催</p> <p><ティーパーボール教室> 実施希望のあった市内小学校を対象にYBC柏の選手をコーチに招き開催</p> <p><ランニングクリニック> 市内在住・在勤・在学の方を対象に積水化学女子陸上競技部の選手をコーチに招き開催</p>	<p>JR東日本野球部</p> <p>日立サンロッカーズ</p> <p>JX-ENEOSサンフラワーズ</p> <p>YBC柏</p> <p>積水化学女子陸上競技部</p>	<p>市のスポーツを活かしたまちづくりの推進</p> <p>参加者の技術向上やホームタウンチームである柏市への愛着を深めること</p>	○	○	○	○	○	○	<p>各スポーツ教室参加者合計</p> <p>H24 H25 H26 H27 H28</p> <p>※バスケットボール教室未実施 ※ランニングクリニック未実施 ※バスケットボール教室未実施</p> <p>1,349人 861人 689人 885人 597人</p>	<p>幅広い年齢層を対象に各種スポーツ教室を開催し、スポーツに触れる機会を提供した。</p> <p>平成29年度も引き続きホームタウンチームと連携し、各種スポーツ教室を開催する。</p>	<p>ホームタウンチームと連携した事業を展開することで、市民が柏市への愛着を深めるとともに、東京オリンピック・パラリンピックに向けスポーツへの関心や参加機会を増進し、スポーツを活かしたまちづくりを推進する。</p>	
保健福祉部 障害福祉就労支援センター	介護予防事業(運動でからだ元気塾)	要介護状態に陥る可能性のある高齢者に対し、専門職が、個々の身体機能に応じた運動内容を助言し、実践する。	地域包括支援センター	週に1回、6ヶ月間にわたり運動を行うことで、自身に必要な運動方法を理解し、運動習慣の定着が図れる。						○	<p>事業効果のあった参加者割合</p> <p>H24 H25 H26 H27 H28</p> <p>88.4% 73.1% 86.0% - -</p>	<p>二次予防事業から一次予防事業として広く普及啓発するため、平成26年度をもって廃止。平成27年度からロコモフィットかしわ事業に移行した。</p>		
保健福祉部 福祉活動推進課 市民生活部 保険年金課	フレイル予防事業(ロコモフィットかしわ)	<p>市民の身近な地域において、ロコモティブシンドローム(運動器症候群)の予防に関する座学と運動指導を行う。</p> <p>(40～64歳の国保被保険者も含む)</p>	柏市在宅リハビリテーション連絡会、東京大学高齢社会総合研究機構、地域包括支援センターなど	市民が主体的にロコモ予防に取り組むことで、生活習慣病予防、介護予防を推進する。					△	○	<p>ロコモフィットかしわ参加者数</p> <p>H24 H25 H26 H27 H28</p> <p>- 127人 658人 1,018人 1,168人</p>	<p>年々会場数を増加し、平成28年度は25会場、245回開催、延4,631人が参加した。ロコモ予防の重要性について市民への理解が深まっている。教室終了後も市民主体で取り組めるよう、自主化支援もを行い、29グループが活動中。平成29年度も同様に、25会場での開催及び自主化支援を行う。</p>	<p>事業分析を基に、引き続きロコモ予防に取り組み必要性のある地域での事業継続と、地域リハビリテーション活動支援事業等を活用した自主化支援を行う。</p>	

所管課	事業名	事業概要 (対象者・内容等)	連携機関	期待する効果	ライフステージ						実績値 (実施回数・参加者数・参加率等)					平成28年度取り組みの成果、今後の課題と考察及び平成29年度の取り組みについて	平成30年度の方向性	委員の評価・アドバイス			
					乳幼児期	学童期	思春期	成年期	壮年期	高齢期											
保健福祉部 福祉政策課 福祉活動推進課	柏フレイル予防プロジェクト2025 (*)	「フレイル(虚弱)」という概念を新たに取り入れ、市民、関係団体、学識経験者、市による「推進委員会」を設置・運営しながら、健康づくり事業の効果的な運動と地域を基盤とした市民主体の活動を推進	医師会、歯科医師会、薬剤師会、東京大学、ふるさと協議会、社会福祉協議会、民生委員児童委員、柏市民健康づくり推進員、スポーツ推進委員、東葛北部栄養士会、リハビリテーション連絡会、地域包括支援センターなど	市民の意識・行動変容(栄養、身体活動、社会参加の促進)												<ul style="list-style-type: none"> ・柏フレイル予防プロジェクト2025推進委員会において、「フレイル予防の概念の下、「三位一体(栄養・運動・社会参加)」の活動を通じた健康で充実した生活を営める健康長寿のまちを目指す」とした目標を掲げ、フレイル予防によるまちづくりの実現を目指す。 ・H29年度は引き続きフレイルチェックを基盤として市民の意識(気づき)、行動変容を創出し、健康づくり・介護予防の地域展開を図っていく。 ・庁内連携体制については、健康づくり業務庁内連絡会等を活用し、施策の横断的な具体連携を図っていく。 	<ul style="list-style-type: none"> ・フレイル予防によるまちづくりの実現を目指し、柏市、地域活動団体、職能団体が一体、運動した活動を実践していく。 ・関係部署等の計画との運動による一体的な施策の実践を図っていく。 				
					推進委員会実施回数					H24	H25	H26	H27	H28	-				-	-	1回
保健福祉部 福祉活動推進課	フレイル予防事業 (※)	主に高齢者に対するフレイル(介護)予防事業のうち、身体活動をテーマとしたプログラムについて、リハビリテーション専門職、運動トレーナー等が講座を開催する。	柏市在宅リハビリテーション連絡会、柏市社会福祉協議会、柏市地域包括支援センターなど	市民の意識・行動変容(身体活動の促進)												<ul style="list-style-type: none"> ・柏フレイル予防プロジェクト2025推進委員会と連動し、平成28年度より取り組みを開始した。 ・平成29年度も引き続き実施していく。 	<ul style="list-style-type: none"> ・介護予防の拠点施設である介護予防センターのほか、市内全域に展開できるよう、地域包括支援センター主催の教室や出前講座等においても実施する。 				
					フレイル予防講座(運動)の参加者数					H24	H25	H26	H27	H28							
					介護予防センター主催の教室					-	-	-	-								8,625人
					フレイル予防出前講座					-	-	-	-								1,157人
					地域包括支援センター主催の教室					-	-	-	-								704人

所管課	事業名	事業概要 (対象者・内容等)	連携機関	期待する効果	ライフステージ						実績値 (実施回数・参加者数・参加率等)	平成28年度取り組みの成果、今後の課題と考察及び平成29年度の取り組みについて	平成30年度の方向性	委員の評価・アドバイス																																																						
					乳幼児期	学童期	思春期	成年期	壮年期	高齢期																																																										
保健所 地域健康づくり課	地域ウォーク	<p><地域ウォーキング講座> 柏市民健康づくり推進員が主催し、各地域で住民同士の仲間づくりとウォーキングをはじめるきっかけづくりを図る</p> <p><手賀沼ふれあいウォーク> 歩くことが好きな市民を増やす目的で開催する。</p> <p><ウォーキングパスポート> 身近な運動である「歩くこと」が好きな市民が増え、主体的・積極的な健康づくりが進められるよう、ウォーキングパスポートの活用促進を展開する。</p>	柏市民健康づくり推進員 市民ウォーキング団体 千葉県ウォーキング協会 我孫子市	<p>・歩くことが好きな市民が増える</p> <p>・市民が運動を始めるきっかけとなる</p>							<p>実施状況</p> <table border="1"> <tr> <td>H24</td> <td>H25</td> <td>H26</td> <td>H27</td> <td>H28</td> </tr> <tr> <td colspan="5">地域ウォーキング講座実施回数</td> </tr> <tr> <td>13回</td> <td>18回</td> <td>16回</td> <td>12回</td> <td>17回</td> </tr> <tr> <td colspan="5">地域ウォーキング講座参加者数</td> </tr> <tr> <td>239人</td> <td>274人</td> <td>235人</td> <td>251人</td> <td>374人</td> </tr> <tr> <td colspan="5">手賀沼ふれあいウォーク実施回数</td> </tr> <tr> <td>1回</td> <td>1回</td> <td>1回</td> <td>1回</td> <td>1回</td> </tr> <tr> <td colspan="5">手賀沼ふれあいウォーク参加者数</td> </tr> <tr> <td>664人</td> <td>773人</td> <td>842人</td> <td>1,189人</td> <td>207人</td> </tr> <tr> <td colspan="5">ウォーキングパスポート発行数</td> </tr> <tr> <td>110人</td> <td>388人</td> <td>597人</td> <td>224人</td> <td>123人</td> </tr> </table> <p><地域ウォーキング講座> 柏市民健康づくり推進員が主催し、各地域で住民同士の仲間づくりとウォーキングをはじめるきっかけづくりをしている。</p> <p><手賀沼ふれあいウォーク> 当日早朝より荒天のため参加者が大幅に減少した。昨年度から、実施日を11月の第三土曜日と固定したことから、市民の意識付けが出来るような定番のイベントとなるよう、周知啓発を行実施する。今後も引き続き、我孫子市等関係機関と連携し実施していく。</p> <p><ウォーキングパスポート> 今年度より全面リニューアルした。従来の配布場所は当課の窓口のみであったが、市内全近隣センターや窓口に配架し市民が目にし、手に取りやすい様にした。また内容も、刷新し、到達歩数を低めに設定。市民の達成感を高められるように工夫した。今年度発行数の伸びを確認し、評価をしていく。</p>	H24	H25	H26	H27	H28	地域ウォーキング講座実施回数					13回	18回	16回	12回	17回	地域ウォーキング講座参加者数					239人	274人	235人	251人	374人	手賀沼ふれあいウォーク実施回数					1回	1回	1回	1回	1回	手賀沼ふれあいウォーク参加者数					664人	773人	842人	1,189人	207人	ウォーキングパスポート発行数					110人	388人	597人	224人	123人	これまでの取り組みに加え、市民の運動への動機付けとなるような媒体を作成する。	
												H24	H25	H26	H27	H28																																																				
地域ウォーキング講座実施回数																																																																				
13回	18回	16回	12回	17回																																																																
地域ウォーキング講座参加者数																																																																				
239人	274人	235人	251人	374人																																																																
手賀沼ふれあいウォーク実施回数																																																																				
1回	1回	1回	1回	1回																																																																
手賀沼ふれあいウォーク参加者数																																																																				
664人	773人	842人	1,189人	207人																																																																
ウォーキングパスポート発行数																																																																				
110人	388人	597人	224人	123人																																																																
保健所 地域健康づくり課	地域運動講座	柏市民健康づくり推進員が主催するウォーキング以外の運動講座	柏市民健康づくり推進員	<p>・市民が運動を始めるきっかけとなる</p> <p>・市民の運動時間が増える</p>						<p>地域運動講座実施状況</p> <table border="1"> <tr> <td>H24</td> <td>H25</td> <td>H26</td> <td>H27</td> <td>H28</td> </tr> <tr> <td colspan="5">実施回数</td> </tr> <tr> <td>2回</td> <td>4回</td> <td>7回</td> <td>10回</td> <td>13回</td> </tr> <tr> <td colspan="5">参加者数</td> </tr> <tr> <td>118人</td> <td>98人</td> <td>257人</td> <td>470人</td> <td>557人</td> </tr> </table> <p>柏市民健康づくり推進員が主催し、地域の課題や実情に応じた健康講座を実施している。誰でも簡単に取り組めるラジオ体操や自分の体力年齢を知って日々の運動習慣につなげるといった内容が多くみられた。今後も推進員を通して地域住民の運動をする意識を高めていけるよう波及していく。</p>	H24	H25	H26	H27	H28	実施回数					2回	4回	7回	10回	13回	参加者数					118人	98人	257人	470人	557人	増進計画の目標値達成に向けて、推進員が主体的となって市民へ運動習慣の動機付けとなるよう、推進員が主体となって企画や啓発活動をしていく。																																
H24	H25	H26	H27	H28																																																																
実施回数																																																																				
2回	4回	7回	10回	13回																																																																
参加者数																																																																				
118人	98人	257人	470人	557人																																																																
保健所 地域健康づくり課	啓発事業 (※)	イベント等の中で運動、食・タバコ等健康に関する啓発を実施。一般市民を対象とし、幅広いテーマについての啓発を行う。	庁内関係各課 柏市民健康づくり推進員 各種団体及び企業関係	幅広いライフステージの市民を対象にポピュレーションアプローチをすることで、健康に関する気づきの場を作る。							<p>啓発実施者数(全数)</p> <table border="1"> <tr> <td>H24</td> <td>H25</td> <td>H26</td> <td>H27</td> <td>H28</td> </tr> <tr> <td>-</td> <td>-</td> <td>6,109人</td> <td>5,235人</td> <td>4,869人</td> </tr> <tr> <td colspan="5">啓発実施者数(身体活動・運動)</td> </tr> <tr> <td>-</td> <td>-</td> <td>1,430人</td> <td>2,439人</td> <td>2,173人</td> </tr> </table> <p>健康づくりや運動に関するリーフレットを作成し、伝えたいことに絞って実施した。また、他課とも連携をし、それぞれの場を生かした啓発を行った。29年度も同様に行っていく。</p>	H24	H25	H26	H27	H28	-	-	6,109人	5,235人	4,869人	啓発実施者数(身体活動・運動)					-	-	1,430人	2,439人	2,173人	増進計画の目標値達成に近づける内容の啓発を実施する。																																				
H24	H25	H26	H27	H28																																																																
-	-	6,109人	5,235人	4,869人																																																																
啓発実施者数(身体活動・運動)																																																																				
-	-	1,430人	2,439人	2,173人																																																																

所管課	事業名	事業概要 (対象者・内容等)	連携機関	期待する効果	ライフステージ						実績値 (実施回数・参加者数・参加率等)					平成28年度取り組みの成果、今後の課題と考察及び平成29年度の取り組みについて	平成30年度の方向性	委員の評価・アドバイス	
					乳幼児期	学童期	思春期	成年期	社年期	高齢期	H24	H25	H26	H27	H28				
生涯学習部スポーツ課	スポーツ施設予約システム	利用者の利便性を図る。	-	スポーツ施設利用者数の増加			○	○	○	○	スポーツ施設利用者数					スポーツ施設予約システムの利用方法の周知、スポーツ大会等の情報提供を行い、利用者の利便性を図った。	スポーツ施設利用者数の増加を図るため、システムを継続して運用していく。		
											H24	H25	H26	H27	H28				
												766,845人	783,387人	859,519人	838,827人	888,964人			
生涯学習部スポーツ課	学校体育施設開放	市民の地域におけるスポーツ活動の振興を図る。	市内各小中学校	利用者数の増加		○	○	○	○	○	学校体育施設利用者数					平成28年度は管理指導員を廃止し、総括管理責任者を全校に置き、学校施設開放運営委員会と各団体による自主的運営を進める形とした。	管理体制や管理責任を強化するため、総括管理責任者を通して団体との連携を図り、自主的運営を進めていく。また、自主的運営を進める中で、運営委員会と各団体及び市の役割を明確にしていく。		
											H24	H25	H26	H27	H28				
												458,066人	334,952人	354,612人	355,702人	345,890人			
生涯学習部スポーツ課	スポーツ推進委員活動	地域スポーツの推進役として、日ごろスポーツをしない人への動機づけなどを行い、スポーツ実施率の向上を図る。	柏市スポーツ推進委員協議会	参加者増加とスポーツ実施率の向上	○	○	○	○	○	○	スポーツ推進委員活動参加者数					推進委員の募集をホームページや広報を活用し、委員を増員及び活動の充実を図った。平成29年度は委員の増員についてPRを強化していく。	市民のスポーツ活動を更に推進していくため、委員の増員を図り、スポーツ推進委員の活動を更に充実させるよう支援していく。		
											H24	H25	H26	H27	H28				
												4,336人	2,876人	2,528人	3,002人	2,986人			
生涯学習部スポーツ課	総合型地域スポーツクラブの育成	クラブが活動する拠点の確保や運営のためのスタッフの確保、クラブを知ってもらうための広報活動を支援する。	市内総合型地域スポーツクラブ	市内クラブの会員数の増加		○	○	○	○	○	市内クラブ会員数					各団体の活動場所について調整などを行うとともに広報活動により参加者の募集を行う。	会員数の増加を図るため、引き続き広報活動により市内総合型地域スポーツクラブの支援をしていく。		
											H24	H25	H26	H27	H28				
												875人	1,131人	995人	1,315人	1,234人			
生涯学習部スポーツ課	スポーツ教室・講習会	スポーツへの参加を促進するため、市主催の事業の他体育協会や指定管理者によるスポーツ教室を開催する。	柏市体育協会 柏市スポーツ推進委員協議会 他	参加者の増加	○	○	○	○	○	○	スポーツ教室・講習会参加者数					平成28年度から「スポーツドリムかしわ2016」を開催しスポーツを「する」きっかけづくりの場を提供した。指定管理者による自主事業では、「柏市スポーツ施設情報誌」やホームページ、広報などの媒体を使い周知を図っている。	市民がスポーツに親しむことができるよう、より多くの機会を提供していく。		
											H24	H25	H26	H27	H28				
												2,085人	3,024人	3,374人	5,383人	5,087人			

所管課	事業名	事業概要 (対象者・内容等)	連携機関	期待する効果	ライフステージ						実績値 (実施回数・参加者数・参加率等)					平成28年度取り組みの成果、今後の課題と考察及び平成29年度の取り組みについて	平成30年度の方向性	委員の評価・アドバイス
					乳幼児期	学童期	思春期	成年期	社年期	高齢期	H24	H25	H26	H27	H28			
生涯学習部 スポーツ課	補助金の交付	スポーツ団体に対し補助金を交付することで、スポーツ事業の充実を図る。	柏市体育協会 柏市家庭婦人スポーツ協会 スポーツ少年団	交付団体の市民大会などの参加者の増加				○	○	○	交付団体の市民大会などの参加者数					補助金の交付により、交付団体主催による市民大会等の事業が開催され、交付団体の事業の充実が図られている。	引き続き補助金を交付し、スポーツ事業の充実を図っていく。	
											H24	H25	H26	H27	H28			
生涯学習部 スポーツ課	新春マラソン大会	市民を対象としたマラソン大会を開催する。	柏市体育協会 柏市スポーツ推進委員協議会 他	参加者の増加				○	○	○	新春マラソン大会参加者数					平成28年度は、実行委員として、実行委員会の運営に協力した。 平成29年度は、子どもの参加を促すための方策を実行委員会で検討していく。	子どもや親子の参加を促す広報活動を強化していく。	
											H24	H25	H26	H27	H28			
生涯学習部 スポーツ課	手賀沼エコマラソン大会	市民の健康増進と街の活性化、及び手賀沼の浄化啓発を図る。	柏市体育協会 柏市スポーツ推進委員協議会 他	参加者の増加				○	○	○	手賀沼エコマラソン大会参加者数					平成28年度よりコースの一部変更を行い、スタート時間差の解消に努めた。 平成29年度は市民枠を1,000名増加し、10,000人規模の大会とする。	平成29年度で23回大会を迎える。歴史と人気がある大会であり、参加者が増加するよう引き続き努力していく。	
											H24	H25	H26	H27	H28			
生涯学習部 中央公民館	成人教育事業 「いきいき健康ライフ講座 (ウォーキング)」	運動をとおして健康の増進を図る方法を学ぶ	ウォーキングサポート柏	運動することの喜びや運動に対する達成感を味わう				○	○	○	いきいき健康ライフ講座参加者							
											H24	H25	H26	H27	H28			
生涯学習部 中央公民館	成人教育事業 「いきいき健康ライフ講座」	長寿社会の中で元気にいきいきと過ごす手立てを学ぶ	—	運動することの喜びや運動に対する達成感を味わう				○	○	○	いきいき健康ライフ講座参加者					(28年度は、「身体活動・運動」以外の内容で実施) 29年度は、身体を動かすきっかけとなるよう講座立案を行っていく	継続実施予定	
											H24	H25	H26	H27	H28			

所管課	事業名	事業概要 (対象者・内容等)	連携機関	期待する効果	ライフステージ						実績値 (実施回数・参加者数・参加率等)	平成28年度取り組みの成果、今後の課題と考察及び平成29年度の取り組みについて	平成30年度の方向性	委員の評価・アドバイス					
					乳幼児期	学童期	思春期	成年期	壮年期	高齢期									
学校教育 部 指導課	学校体育の 促進関連事 業	①「新体力テスト」の実施 市内小中学校児童生徒・ 握力等計8項目 ②「小学校体育授業サポ ート事業」 小学校10校・特別支援学 級を中心とした体育の授 業支援 ③「運動部活動指導者派 遣事業」 中学校運動部活動・専門 的な指導ができる運動部 活動指導者の派遣	千葉県小中 学 校 体 育 連 盟 柏 支 部	①児童生徒の 体力向上 ②支援を必要と する児童の運動 への意欲・技能 の向上 ③運動部活動 に加入している 生徒の意欲・技 能の向上						○	△	①全国平均を上回る項目					①に関しては、多くの項目が 全国平均以上となっており、 一定の成果はあがっている が、一方で瞬発力、持久力、 投力に関して課題が浮き彫り になっている。次年度以降も 結果分析と対策を各校に周 知し、体力向上を目指したい 。 ②に関しては、NPOの専門ス タッフを配置している10校か ら高い満足度を得ている。し かし、市内の大半の学校が配 置を要望しているが、1/3の 学校にしかスタッフを配置でき ないのが現状である。よって、 配置が必要な学校を見極め、 適切な配置を行い、最大限の 効果があげられるよう運用し ていきたい。 ③に関しては、外部指導者を 市内全中学校に配置している 。専門外の顧問も多くいるた め、指導者からの専門的な指 導により、意欲・技能が向上し ている事例が多数見受けられ る。	①分析ソフトの活用による 綿密な実態把握と 好事例の周知により、 全国平均を上回る項 目60%を目指す。 ②継続して、該当校の 満足度100%を目指す。 ③生徒の意欲・技能の 向上を図るとともに、安 全・安心な部活動運営 ができるよう、運動部 活動指導者への啓発 を行う。	
												H24	H25	H26	H27	H28			
												54.2%	62.5%	52.1%	47.9%	43.7%			
												②年間210時間の授業支援・ 実施校の満足度							
												100%	100%	100%	100%	100%			
③中学校運動部活動指導者派遣数					各校 2～5人 計80人	各校 2～5人 計80人	各校 2～5人 計80人	各校 2～5人 計80人	各校 3～5人 計87人										
学校教育 部 教育研 究所	幼児教育の 推進(柏市幼 児教育共同 研究)	幼児教育の今日的課題 をもとに、研究テーマ(運 動遊び)を設定し、教育 委員会と市内全幼稚園・ 全保育園が共同で実践 研究を実施。	教育委員会 市内全幼稚園 市内全保育園	教職員の力量と 専門性の向上 幼児の体力・運 動能力の基礎 を培う						○	実施幼稚園数					平成28年度は運動遊びの充 実を重点に取り組んだ。 各園で子どもの実態等を把握 し、課題を抽出することで遊 びの中で楽しく多様な動きを 身につけることができるような 遊びを考え、実践した。	継続実施		
											H24	H25	H26	H27	H28				
											34園	33園	33園	33園	33園				
											実施幼稚園児数								
											5,804人	5,752人	5,633人	5,574人	5,336人				
											実施保育園数								
											38園	41園	51園	56園	63園				
実施保育園児数					1,616人	1,733人	1,866人	2,013人	2,051人										

(2)身体活動・運動に取り組みやすい環境づくり																		
③1日の歩行時間の増加																		
④地域活動やボランティア活動への参加意識向上																		
所管課	事業名	事業概要 (対象者・内容等)	連携機関	期待する効果	ライフステージ						実績値 (実施回数・参加者数・参加率等)					平成28年度取り組みの成果、今後の課題と考察及び平成29年度の取り組みについて	平成30年度の方向性	委員の評価・アドバイス
					乳幼児期	学童期	思春期	成年期	壮年期	高齢期	H24	H25	H26	H27	H28			
保健所 地域健康づくり課	啓発事業 (*)	イベント等の中で運動、食、タバコ等健康に関する啓発を実施。一般市民を対象とし、幅広いテーマについての啓発を行う。	庁内関係各課 柏市民健康づくり推進員 各種団体及び企業関係	幅広いライフステージの市民を対象にポピュレーションアプローチをすることで、健康に関する気づきの場を作る。	○	○	○	○	○	○	啓発実施者数(全数)					健康づくりや運動に関するリーフレットを作成し、伝えたいことに的を絞って実施した。また、他課とも連携をし、それぞれの場を生かした啓発を行った。29年度も同様に行っていく。	増進計画の目標値達成に近づける内容の啓発を実施する。	
											H24	H25	H26	H27	H28			
					-	-	6,109人	5,235人	4,869人	啓発実施者数(身体活動・運動)								
					H24	H25	H26	H27	H28	-	-	1,430人	2,439人	2,173人				
保健所 地域健康づくり課	地域ウォーク (*)	<p><地域ウォーキング講座> 柏市民健康づくり推進員が主催し、各地域で住民同士の仲間づくりとウォーキングをはじめるきっかけづくりを図る</p> <p><手賀沼ふれあいウォーク> 歩くことが好きな市民を増やす目的で開催する。</p> <p><ウォーキングパスポート> 身近な運動である「歩くこと」が好きな市民が増え、主体的・積極的な健康づくりが進められるよう、ウォーキングパスポートの活用促進を展開する。</p>	柏市民健康づくり推進員 市民ウォーキング団体 千葉県ウォーキング協会 我孫子市	<p>・歩くことが好きな市民が増える</p> <p>・市民が運動を始めるきっかけとなる</p>							実施状況					<p><地域ウォーキング講座> 柏市民健康づくり推進員が主催し、各地域で住民同士の仲間づくりとウォーキングをはじめるきっかけづくりをしている。</p> <p><手賀沼ふれあいウォーク> 当日早朝より荒天のため参加者が大幅に減少した。昨年度から、実施日を11月の第三土曜日と固定したことから、市民の意識付けが出来るような定番のイベントとなるよう、周知啓発を行実施する。今後も引き続き、我孫子市等関係機関と連携し実施していく。</p> <p><ウォーキングパスポート> 今年度より全面リニューアルした。従来の配布場所は当課の窓口のみであったが、市内全近隣センターや窓口に配架し市民が目にし、手に取りやすい様にした。また内容も、刷新し、到達歩数を低めに設定。市民の達成感を高められるように工夫した。今年度発行数の伸びを確認し、評価をしていく。</p>	これまでの取り組みに加え、市民の運動への動機付けとなるような媒体を作成する。	
											H24	H25	H26	H27	H28			
					地域ウォーキング講座実施回数						13回	18回	16回	12回	17回			
					地域ウォーキング講座参加者数						239人	274人	235人	251人	374人			
					手賀沼ふれあいウォーク実施回数						1回	1回	1回	1回	1回			
					手賀沼ふれあいウォーク参加者数						664人	773人	842人	1,189人	207人			
					ウォーキングパスポート発行数						110人	388人	597人	224人	123人			
					スポーツ推進委員活動参加者数													
											H24	H25	H26	H27	H28			
											4,336人	2,876人	2,528人	3,002人	2,986人			
生涯学習部 スポーツ課	スポーツ推進委員活動 (*)	地域スポーツの推進役として、日ごろスポーツをしない人への動機づけなどを行い、スポーツ実施率の向上を図る。	柏市スポーツ推進委員協議会	参加者増加と、スポーツ実施率の向上	○	○	○	○	○	○	推進委員の募集をホームページや広報を活用し、委員を増員及び活動の充実を図った。平成29年度は委員の増員についてPRを強化していく。					市民のスポーツ活動を更に推進していくため、委員の増員を図り、スポーツ推進委員の活動を更に充実させるよう支援していく。		

3. 休養・こころの健康

(1)睡眠等による十分な休養の確保																		
①睡眠による休養を十分にとれていない人の割合の減少																		
所管課	事業名	事業概要 (対象者・内容等)	連携機関	期待する効果	ライフステージ						実績値 (実施回数・参加者数・参加率等)					平成28年度取り組みの成果、今後の課題と考察及び平成29年度の取り組みについて	平成30年度の方向性	委員の評価・アドバイス
					乳幼児期	学童期	思春期	成年期	壮年期	高齢期	H24	H25	H26	H27	H28			
保健所 保健予防課	こころの病気の啓発・普及活動	<p><出前講座> こころの健康について講座形式で、正しい知識の普及啓発を行う。</p> <p><市民講座> 講演会により、精神疾患に関する正しい知識の普及啓発を行う。</p>	—	より多くの市民が、こころの健康や精神疾患に関する正しい知識を学ぶことができる。							出前講座参加者数					関係機関と連携や調整をした市民講座開催ができた。出前講座は、開催数は増加したが、延参加者数は減少してしまった。平成29年度も関係機関と連携を強化した市民講座を企画していく。また、出前講座はより多くの方に参加していただくよう周知を強化する。	継続	
											H24	H25	H26	H27	H28			
											延339人	延228人	延224人	延365人	延232人			
											市民講座参加者数							
						80人	—	53人	77人	74人								
(2)上手なストレス解消																		
②ストレスを感じた人の割合の減少																		
所管課	事業名	事業概要 (対象者・内容等)	連携機関	期待する効果	ライフステージ						実績値 (実施回数・参加者数・参加率等)					平成28年度取り組みの成果、今後の課題と考察及び平成29年度の取り組みについて	平成30年度の方向性	委員の評価・アドバイス
					乳幼児期	学童期	思春期	成年期	壮年期	高齢期	H24	H25	H26	H27	H28			
保健福祉部 福祉政策課 福祉活動推進課	柏フレイル予防プロジェクト2025 (*)	<p>「フレイル(虚弱)」という概念を新たに取り入れ、市民、関係団体、学識経験者、市による「推進委員会」を設置・運営しながら、健康づくり事業の効果的な運動と地域を基盤とした市民主体の活動を推進</p>	医師会、歯科医師会、薬剤師会、東京大学、ふるさと協議会、社会福祉協議会、民生委員児童委員、柏市民健康づくり推進員、スポーツ推進委員、東葛北部栄養士会、リハビリテーション連絡会、地域包括支援センターなど	市民の意識・行動変容(栄養、身体活動、社会参加の促進)							推進委員会実施回数					<p>・柏フレイル予防プロジェクト2025推進委員会において、「フレイル予防の概念の下、「三位一体(栄養・運動・社会参加)」の活動を通じた健康で充実した生活を営める健康長寿のまちを目指す」とした目標を掲げ、フレイル予防によるまちづくりの実現を目指す。</p> <p>・H29年度は引き続きフレイルチェックを基盤として市民の意識(気づき)、行動変容を創出し、健康づくり・介護予防の地域展開を図っていく。</p> <p>・庁内連携体制については、健康づくり業務庁内連絡会等を活用し、施策の横断的な具体連携を図っていく。</p>	<p>・フレイル予防によるまちづくりの実現を目指し、柏市、地域活動団体、職能団体が一体、運動した活動を実践していく。</p> <p>・関係部署等の計画との運動による一体的な施策の実践を図っていく。</p>	
											H24	H25	H26	H27	H28			
											—	—	—	1回	3回			
											出前講座参加者数							
						80人	—	53人	77人	74人								
保健所 保健予防課	こころの病気の啓発・普及活動 (*)	<p><出前講座> こころの健康について講座形式で、正しい知識の普及啓発を行う。</p> <p><市民講座> 講演会により、精神疾患に関する正しい知識の普及啓発を行う。</p>	—	より多くの市民が、こころの健康や精神疾患に関する正しい知識を学ぶことができる。							出前講座参加者数					関係機関と連携や調整をした市民講座開催ができた。出前講座は、開催数は増加したが、延参加者数は減少してしまった。平成29年度も関係機関と連携を強化した市民講座を企画していく。また、出前講座はより多くの方に参加していただくよう周知を強化する。	継続	
											H24	H25	H26	H27	H28			
											延339人	延228人	延224人	延365人	延232人			
											市民講座参加者数							
						80人	—	53人	77人	74人								

所管課	事業名	事業概要 (対象者・内容等)	連携機関	期待する効果	ライフステージ						実績値 (実施回数・参加者数・参加率等)					平成28年度取り組みの成果、今後の課題と考察及び平成29年度の取り組みについて	平成30年度の方向性	委員の評価・アドバイス
					乳幼児期	学童期	思春期	成年期	壮年期	高齢期	H24	H25	H26	H27	H28			
保健所 保健予防課	本人・家族の相談・訪問支援等	〈こころの健康相談〉 精神科嘱託医や職員によるこころの健康に関する相談。	—	精神的な問題を抱えた本人や家族を支援し、生活の質の向上を目指す。							精神科医による相談数(回数)					精神科嘱託医や職員によるこころの健康相談を実施し、関係機関と連携を図りながら本人や家族支援ができた。平成29年度も迅速かつ安全な対応を目指し、関係機関と調整を図っていく。	継続	
											H24	H25	H26	H27	H28			
											55件	65件	48件	46件	54件			
											職員による面談や訪問(延数)							
											1,682件	1,694件	1,288件	1,357件	1,636件			
電話相談					5,890件	6,797件	7,248件	6,660件	7,570件									
子ども部 子育て支援課 生涯学習部 図書館 保健所 地域健康づくり課	ブックスタート事業	市民ボランティアが1歳6か月健診の受診親子に対し、親子の優しいことばかけやふれあいが子どもの心の成長や言葉の発達に大切であり、絵本を介することによりそういった時間や機会が持ちやすくなること伝える。親子で絵本を開く楽しい体験をしていただき、絵本をお渡ししている。	柏市ふれあいブックスタートの会	・絵本を通じ、親子のふれあいや保護者の心安らぐ時間をつくり、子どもの豊かな心を育む ・ことばかけやふれあいにより、愛される経験、守られている経験を積み重ねることが愛着形成につながり、乳幼児の健全な成長を図る							ブックスタート実施数					平成28年度は、延べ617人のボランティアが参加し、ブックスタート事業を実施。(受診者対象のうち99.7%がメッセージの受け取り)平成29年度中に、受取者数5万組達成となることから、イベントを検討する。今後も事業を継続しながら、関係課及び連携機関で事業のあり方を協議検討していく。	平成29年度の協議検討結果に基づき、平成30年度の方向性を決定する。	
											H24	H25	H26	H27	H28			
											3,421人	3,203人	3,354人	3,120人	3,407人			
子ども部 子育て支援課 子ども部 保育運営課	地域子育て支援拠点事業	乳幼児及びその保護者が相互の交流を行う場所を開設し、子育てについての相談、情報の提供、助言その他の援助を行う事業(児童福祉法第6条の3第6項に規定される事業)		子育て中の親子の孤立や子育てに対する不安の減少。							地域子育て支援拠点事業 延利用者数					平成28年度は南部地域に1箇所新設した。また、はぐはぐ柏のページをリニューアルし、アクセス数を大幅に増やすことができた。平成29年度は北部地域に1箇所新設を予定しており、事業の拡充を図る。	継続実施予定	
											H24	H25	H26	H27	H28			
											120,719人	115,200人	117,382人	117,956人	119,872人			
生涯学習部 中央公民館	高齢者教育事業 かたくり学級	高齢者に積極的に学習の場に参加してもらうため、多分野にわたり新鮮な情報を提供し、健康で明るい暮らしや生きがい探しを支援する。	—	・生きがいづくりや仲間づくり ・健康維持・増進を図り、健康で楽しい日々を過ごせる							講座実施状況					講義と体験を組み合わせ実施した。引きこもりがちな高齢者の生活を、講座に向くことで様々なことに関心を持ってもらい、生きがい探しの支援を目的とした講座である。29年度も引き続き実施していく。	継続実施予定	
											H24	H25	H26	H27	H28			
											実施回数							
												5回	5回	5回	13回			
											参加者数							

所管課	事業名	事業概要 (対象者・内容等)	連携機関	期待する効果	ライフステージ						実績値 (実施回数・参加者数・参加率等)	平成28年度取り組みの成果、今後の課題と考察及び平成29年度の取り組みについて	平成30年度の方向性	委員の評価・アドバイス				
					乳幼児期	学童期	思春期	成年期	壮年期	高齢期								
生涯学習部 中央公民館	家庭教育事業 家庭教育講演会	子育て支援を目的とした「柏市私立幼稚園協会」との連携事業。直面する課題をテーマに講演会を実施。子ども・家族・自分自身を見つめ直し、新たな一歩を踏み出すきっかけづくりを目指す。	柏市私立幼稚園協会	子育て中の親子の孤立や子育てに対する不安の解消				○			講座実施状況					子育て支援として、子どもの発達段階に応じたかかわり方についての学習は極めて重要であることから、29年度も継続して実施していく。	継続実施予定	
											H24	H25	H26	H27	H28			
											実施回数							
											1回	1回	1回	1回	1回			
											参加者数							
320人	381人	262人	385人	234人														
生涯学習部 中央公民館	地域づくり事業 現代課題講座	現代社会が抱える様々な問題を専門的な視点から掘り下げ、関心を高める。	—	不安の解消				○	○	○	講座実施状況					28年度は「古い支度」をテーマに実施した。対象者によって現代課題のテーマは変わるため、今後も継続して実施していく。	継続実施予定	
											H24	H25	H26	H27	H28			
											実施回数							
											—	—	—	1回	1回			
											参加者数							
—	—	—	77人	69人														
～H27 生涯学習部 沼南公民館 H28～ 中央公民館	高齢者教育事業 いきいきセミナー	高齢者が健康でより充実した豊かな人生を送るため地域の方々との交流を深め、互いに学ぶことにより、良好な人間関係を築き社会的能力を高め、めまぐるしく移り変わる社会に順応できる能力を養う。	—	講座で学んだことを、生活の中で取り入れてもらい、健康で長生きをする。					○		講座実施状況					受講者の意見を取り入れながら、生活に役立つ実技から地域の歴史探訪まで、高齢者の抱える課題解決を目指し、多岐にわたる学習を展開した。29年度も継続して実施していく。	継続実施予定	
											H24	H25	H26	H27	H28			
											実施回数							
											5回	7回	8回	8回	8回			
											参加者数							
104人	171人	211人	306人	280人														

(3)自殺予防対策																		
③自殺者数の減少																		
所管課	事業名	事業概要 (対象者・内容等)	連携機関	期待する効果	ライフステージ						実績値 (実施回数・参加者数・参加率等)	平成28年度取り組みの成果、今後の課題と考察及び平成29年度の取り組みについて	平成30年度の方向性	委員の評価・アドバイス				
					乳幼児期	学童期	思春期	成年期	壮年期	高齢期								
保健福祉部 保健福祉総務課	自殺予防対策事業	自殺者の減少を目的として、各関係機関との情報共有の場である自殺予防対策連絡会議を開催	庁内関係部局、医師会、民生委員児童委員協議会、柏警察署、千葉大学、柏商工会議所、柏労働基準監督署、柏市社会福祉協議会等	自殺者の減少	○	○	○	○	○	○	自殺者数					自殺対策基本法の改正に伴い、市町村にも自殺対策計画の策定が義務付けられた。平成28年度は国から示されたデータをもとに議論すべく自殺予防対策連絡会議の開催予定していたが、データが年度内に示されなかったことから今年度は開催を見送った。なお平成29年度は2回程度の開催を予定している。	柏市自殺対策計画策定のため、平成29年度に引き続き会議を開催していく。	
											H24	H25	H26	H27	H28			
											78人	73人	73人	68人	未確定			
											人口10万人対率							
											19.3	18.0	17.9	16.4	未確定			
保健福祉部 保健福祉総務課	千葉県地域自殺対策強化事業費補助金事業	普及啓発・相談事業・人材育成・遺族支援・こころの健康づくり・医療連携の各事業を柱として、一次予防(事前予防)・二次予防(危機対応)・三次予防(事後対応)の観点から対策を実施	庁内関係部局、医師会、民生委員児童委員協議会、柏警察署、千葉大学、柏商工会議所、柏労働基準監督署、柏市社会福祉協議会等	自殺者の減少	○	○	○	○	○	○	自殺者数					平成28年度は相談窓口案内の冊子作成・配付、無料相談事業、自殺予防ゲートキーパー養成研修、自死遺族支援事業を実施した。平成29年度は上記に加え、若年層向けの対策として自殺予防ミュージカルを開催し、一層の啓発に努める。	平成29年度に引き続き事業を実施していく。	
											H24	H25	H26	H27	H28			
											78人	73人	73人	68人	未確定			
											人口10万人対率							
											19.3	18.0	17.9	16.4	未確定			
保健所 保健予防課	本人・家族の相談・訪問支援等(*)	<こころの健康相談>精神科嘱託医や職員によるこころの健康に関する相談。	—	精神的な問題を抱えた本人や家族を支援し、生活の質の向上を目指す。	○	○	○	○	○	精神科医による相談数(回数)					精神科嘱託医や職員によるこころの健康相談を実施し、関係機関と連携を図りながら本人や家族支援ができた。平成29年度も迅速かつ安全な対応を目指し、関係機関と調整を図っていく。	継続		
										H24	H25	H26	H27	H28				
										55件	65件	48件	46件	54件				
										職員による面談や訪問(延数)								
										1,682件	1,694件	1,288件	1,357件	1,636件				
電話相談																		
5,890件	6,797件	7,248件	6,660件	7,570件														

所管課	事業名	事業概要 (対象者・内容等)	連携機関	期待する効果	ライフステージ						実績値 (実施回数・参加者数・参加率等)	平成28年度取り組みの成果、今後の課題と考察及び平成29年度の取り組みについて	平成30年度の方向性	委員の評価・アドバイス				
					乳幼児期	学童期	思春期	成年期	壮年期	高齢期								
保健所 地域健康づくり課	啓発事業 (※)	イベント等の中で運動、食、タバコ等健康に関する啓発を実施。一般市民を対象とし、幅広いテーマについての啓発を行う。	庁内関係各課 柏市民健康づくり推進員 各種団体及び企業関係	幅広いライフステージの市民を対象にポピュレーションアプローチをすることで、健康に関する気づきの場を作る。									健康づくりに関するリーフレットを作成し、伝えたいことを絞って実施した。また、他課とも連携をし、それぞれの場を生かした啓発を行った。29年度は休養・こころをテーマとした啓発を関係部署と連携を図り、推進していく。	・増進計画の目標値達成に近づける内容の啓発を行っていく				
					啓発実施者数(全数)						H24	H25				H26	H27	H28
											-	-				6,109人	5,235人	4,869人
					啓発実施者数(休養・こころの健康)						H24	H25				H26	H27	H28
											-	-				500人	0人	0人
学校教育 部 生徒指導室	不登校児童生徒の支援事業	市内の小中学校で、何らかの要因による不登校状態の児童生徒を対象に行う支援事業。本人の自立を促すとともに、学校復帰を目指すため、学習支援や訪問活動を行っている。	-	不登校児童生徒の減少									不登校の背景に、貧困・虐待等家庭環境の問題が絡んでいるケースも少なくない。H28年度からSSWを3名学習相談室に配置し、アウトリーチ型の支援を行っている。今年度は、1名増員し、4名体制をとり、より学校現場との連携を強め、不登校児童生徒の支援を行っていく。また、SSW同士の情報の共有・連携を図るため、定期的に連絡会を設けることとしている。	家庭や学校だけで不登校の問題を抱えることにならないよう、SSWへの相談体制を確立する。これまで2年間の活動を評価し、より学校が活用しやすいSSWの勤務体系、配置場所を検討する。				
					適応指導教室学習相談室入室入級者数						H24	H25				H26	H27	H28
											-	-				-	70人	63人
					教育相談件数(電話)													
											-	-				-	2,616件	2,944件
					教育相談件数(来室・訪問等)													
											-	-				-	790件	881件
教育相談件数(家庭訪問)																		
						-	-	-	987件	781件								

4. 喫煙

(1)喫煙・受動喫煙が及ぼす健康影響に関する知識の普及																	
①喫煙率の減少																	
②喫煙・受動喫煙が及ぼす健康影響に関する認識をもつ成人の割合の増加																	
所管課	事業名	事業概要 (対象者・内容等)	連携機関	期待する効果	ライフステージ						実績値 (実施回数・参加者数・参加率等)	平成28年度取り組みの成果、今後の課題と考察及び平成29年度の取り組みについて	平成30年度の方向性	委員の評価・アドバイス			
					乳幼児期	学童期	思春期	成年期	壮年期	高齢期							
保健所 地域健康づくり課	タバコ対策	<ul style="list-style-type: none"> ・柏ノースモッチ子戦協議会会議 ・禁煙補助剤体験事業 ・柏ノースモッチ子戦出張講座 ・タバコ講演会 ・乳幼児保護者向けリーフレット作成 	<ul style="list-style-type: none"> ・医師会 ・歯科医師会 ・薬剤師会 ・タバコ問題を考える会・千葉 ・学校 ・PTA ・私立幼稚園協会 ・商工会議所 ・主任児童委員 ・柏市民健康づくり推進員 	<ul style="list-style-type: none"> ・禁煙をする市民が増える ・喫煙する市民が減る ・学校の周囲で喫煙する大人が減る ・タバコの害や受動喫煙について正しい認識を持つ大人の増加 	○	○	○	○	○	○	禁煙補助剤体験者数 H24 H25 H26 H27 H28 239人 203人 64人 115人 119人 出張講座実施校数 27校 29校 18校 16校 14校	<ul style="list-style-type: none"> ・実施後のアンケートでの禁煙継続率が半数に留まっている。また、事後アンケートにて禁煙支援薬局を知らないと答える割合が高く、禁煙薬局の周知効果は薄い。 ・アンケート返送率が低いことや、22年度からの継続事業であり対象者限定されていると考えられることから事業の効果検討および内容の見直しが必要である。 ・29年度郵送アンケートで返送がない方へは電話でのアンケートを実施。 ・乳幼児保護者向けの啓発チラシを、市内保育園(全年長児)、市内幼稚園(全年長児)、1歳6か月健診、3歳児健診にて配布。 	<ul style="list-style-type: none"> ・アンケート結果により禁煙補助剤体験事業方法の検討 ・啓発リーフレットを継続して配布。たばこの害や受動喫煙について正しい知識を持てるよう効果的な方法の啓発を検討していく。 				
					○	○	○	○	○	○	啓発実施者数(全数) H24 H25 H26 H27 H28 - - 6,109人 5,235人 4,869人				<ul style="list-style-type: none"> 健康づくりやたばこに関するリーフレットを作成し、伝えたいことに絞って実施した。また、他課とも連携し、それぞれの場を生かした啓発を行った。 29年度も同様に行っていきたい。 	<ul style="list-style-type: none"> ・増進計画の目標値達成に近づける内容の啓発を行っていく 	
					○	○	○	○	○	○	啓発実施者数(喫煙) - - 1,681人 50人 900人						
					保健所 地域健康づくり課	啓発事業 (※)	イベント等の中で運動、食、タバコ等健康に関する啓発を実施。一般市民を対象とし、幅広いテーマについての啓発を行う。	<ul style="list-style-type: none"> 庁内関係各課 柏市民健康づくり推進員 各種団体及び企業関係 	幅広いライフステージの市民を対象にポピュレーションアプローチをすることで健康に関する気づきの場を作る。	○	○				○	○	○

(2)受動喫煙の防止																		
③受動喫煙の機会を有する人の割合の減少																		
所管課	事業名	事業概要 (対象者・内容等)	連携機関	期待する効果	ライフステージ						実績値 (実施回数・参加者数・参加率等)					平成28年度取り組みの成果、今後の課題と考察及び平成29年度の取り組みについて	平成30年度の方向性	委員の評価・アドバイス
					乳幼児期	学童期	思春期	成年期	壮年期	高齢期	H24	H25	H26	H27	H28			
保健所 地域健康づくり課	タバコ対策 (※)	・柏ノースモッチ子戦協 議会会議 ・柏ノースモッチ子戦出 張講座 ・タバコ講演会 ・禁煙・分煙ありがとう店 登録店制度 ・乳幼児保護者向けリー フレットの作成、配布 ・「たばこの煙困りました カード」の設置	・医師会 ・歯科医師会・ 薬剤師会 ・タバコ問題を 考える会・千葉 ・商工会議所 ・環境サービ ス課 ・地域支援課	受動喫煙による 健康被害の減少	○	○	○	○	○	○	禁煙分煙ありがとう店登録店					「禁煙分煙ありがとう店」の 実態調査を実施およびHP にて店舗の周知、「たばこの 煙困りましたカード」の作 成、市役所内、市内産婦人 科等に設置を行った。29年 度も継続して実施していく。	国の動向と合わせ、 受動喫煙による被害 減少に向けた事業方 法の検討。	
											H24	H25	H26	H27	H28			
保健所 地域健康づくり課	啓発事業 (*)	イベント等の中で運動、 食、タバコ等健康に関す る啓発を実施。一般市民 を対象とし、幅広いテー マについての啓発を行う 。	庁内関係各課 柏市民健康づ くり推進員 各種団体及び 企業関係	幅広いライフス テージの市民を 対象にポピュレ ーションアプロ ーチをすること で、健康に関する 気づきの場を作 る。	○	○	○	○	○	○	啓発実施者数(全数)					健康づくりやたばこに関する リーフレットを作成し、伝えたい ことに的を絞って実施した。 また、他課とも連携し、そ れぞれの場を生かした啓発 を行った。 29年度も同様に行ってい きたい。	・増進計画の目標値 達成に近づける内容 の啓発を行っていく	
															H24			
環境部 環境サー ビス課	ぼい捨て等 防止事業	啓発看板・路面シール・ 横断幕の設置等の啓発 を行い、路上喫煙等防止 を推進し、ぼい捨てごみ を減少させる。	—	ぼい捨てごみ、 路上喫煙・歩行 喫煙者の減少。			△	○	○	△	過料徴収件数					路面シールのデザイン変 更、柏駅前アナウンスを小 学生の声に変更するととも に、市民に聞こえやすいよう に方向転換を行った。また、 安全面や費用面を考慮し、 試験的に電柱広告を取り入 れたが、柏駅周辺の一部 のみであるため、今後さら なる導入を検討。	市内各駅周辺におけ るぼい捨てごみ減少 及び経費削減と効果 的な啓発及びパトロ ールの継続	
															H24			
											301件	326件	169件	275件	155件			

(3) 禁煙の支援																		
④ 禁煙達成率																		
⑤ 成人の禁煙外来における保険適用に関する認知率																		
所管課	事業名	事業概要 (対象者・内容等)	連携機関	期待する効果	ライフステージ						実績値 (実施回数・参加者数・参加率等)					平成28年度取り組みの成果、今後の課題と考察及び平成29年度の取り組みについて	平成30年度の方向性	委員の評価・アドバイス
					乳幼児期	学童期	思春期	成年期	壮年期	高齢期	H24	H25	H26	H27	H28			
保健所 地域健康づくり課	タバコ対策 (※)	<ul style="list-style-type: none"> 禁煙補助剤体験事業 禁煙外来をHPで公開 	<ul style="list-style-type: none"> 薬剤師会 医師会 	禁煙する市民が増える				○	○	○	239人	203人	64人	115人	119人	<ul style="list-style-type: none"> 実施後のアンケートでの禁煙継続率が半数に留まっている。また、事後アンケートにて禁煙支援薬局を知らないと答える割合が高く、禁煙薬局の周知効果は薄い。 アンケート返送率が低いことや、22年度からの継続事業であり対象者限定されていると考えられることから事業の効果検討および内容の見直しが必要である。 29年度郵送アンケートで返送がない方へは電話でのアンケートを実施。 	<ul style="list-style-type: none"> アンケート結果により事業方法の検討 	
		<ul style="list-style-type: none"> 禁煙外来をHPで公開 禁煙補助剤体験申し込み者に一覧を渡す 柏市国保特定健診受診者へ啓発 	<ul style="list-style-type: none"> 柏市医師会 保険年金課 	身近な医療機関で保険による禁煙指導が受けられることを知るができる				○	○	○	25件	25件	26件	33件	29件	<ul style="list-style-type: none"> 禁煙外来をHPで公開 柏市特定健診受診者へ啓発 29年度は、禁煙支援機関マップを作成し、市民へ周知 	<ul style="list-style-type: none"> 禁煙を希望する市民が禁煙につながるようなサポート体制の充実 禁煙支援機関マップの配布等を通して禁煙支援機関を市民へ広く周知する。 	

(4)未成年者の喫煙防止																		
⑥喫煙経験率																		
⑦喫煙願望率																		
⑧周囲で喫煙する大人の存在率																		
所管課	事業名	事業概要 (対象者・内容等)	連携機関	期待する効果	ライフステージ						実績値 (実施回数・参加者数・参加率等)					平成28年度取り組みの成果、今後の課題と考察及び平成29年度の取り組みについて	平成30年度の方向性	委員の評価・アドバイス
					乳幼児期	学童期	思春期	成年期	壮年期	高齢期	H24	H25	H26	H27	H28			
保健所 地域健康づくり課	タバコ対策 (※)	<ul style="list-style-type: none"> ・柏ノースモッチ子戦出張講座実施 ・柏ノースモッチ子新聞発行 ・小中学校タバコに関するアンケート 	<ul style="list-style-type: none"> ・小中学校 ・学校保健課 	<ul style="list-style-type: none"> ・小中学生の喫煙経験率が減る ・小中学生の「タバコがかっこいいと思う」割合が減る ・タバコの害について正しく知ることができる 		○	○					出張講座実施校数 H24 H25 H26 H27 H28 27校 29校 18校 16校 14校	<ul style="list-style-type: none"> ・薬物乱用防止教室や他の出張講座と合わせて禁煙教育を実施している学校が多いことから、禁煙教育の実施状況の把握が課題。 ・小学校4年生から中学校3年生を対象に各学年に合わせた「柏ノースモッチ子新聞」を発行。 ・学校保健課よりノースモッチ子新聞の活用状況について確認および積極的周知の啓発。今後新しいデータへ更新する。 	<ul style="list-style-type: none"> 学校保健課と連携し、禁煙教育の実施状況の把握及び子どもたちが正しい選択をできるようなアプローチの継続 				
		<ul style="list-style-type: none"> ・柏ノースモッチ子戦出張講座実施 ・柏ノースモッチ子新聞発行 ・小中学校タバコに関するアンケート ・乳幼児保護者向けリーフレットの作成、配布 	<ul style="list-style-type: none"> ・小中学校 ・学校保健課 ・幼稚園協会 	<ul style="list-style-type: none"> ・タバコの害について正しく知る大人が増える ・禁煙する大人が増える 					○	○	○	出張講座実施校数 H24 H25 H26 H27 H28 27校 29校 18校 16校 14校	<ul style="list-style-type: none"> ・公立保育園年長児、私立幼稚園年長児、幼児健診で保護者に向けて受動喫煙のリーフレットを配布した。29年度も継続して配布する。 	<ul style="list-style-type: none"> たばこの害や正しい知識を持てるよう効果的な啓発を行う。 				
保健所 地域健康づくり課	啓発事業 (*)	イベント等の中で運動、食、タバコ等健康に関する啓発を実施。一般市民を対象とし、幅広いテーマについての啓発を行う。	<ul style="list-style-type: none"> 庁内関係各課 柏市民健康づくり推進員 各種団体及び企業関係 	幅広いライフステージの市民を対象にポピュレーションアプローチをすることで、健康に関する気づきの場を作る。	○	○	○	○	○	○	啓発実施者数(全数) H24 H25 H26 H27 H28 - - 6,109人 5,235人 4,869人 啓発実施者数(喫煙) - - 1,681人 50人 900人	健康づくりやたばこに関するリーフレットを作成し、伝えることに絞って実施した。また、他課とも連携し、それぞれの場を生かした啓発を行った。29年度も同様に行っていきたい。	<ul style="list-style-type: none"> 前年度と同様の取り組みに加え、喫煙者に禁煙についての啓発を行う。 					

5. 飲酒

(1)過度の飲酒が及ぼす健康影響及び適度な飲酒に関する知識の普及																		
①「生活習慣病のリスクを高める飲酒量」の認識率の増加																		
所管課	事業名	事業概要 (対象者・内容等)	連携機関	期待する効果	ライフステージ						実績値 (実施回数・参加者数・参加率等)	平成28年度取り組みの成果、今後の課題と考察及び平成29年度の取り組みについて	平成30年度の方向性	委員の評価・アドバイス				
					乳幼児期	学童期	思春期	成年期	壮年期	高齢期								
保健所 地域健康づくり課	啓発事業 (※)	イベント等の中で運動、食、タバコ等健康に関する啓発を実施。一般市民を対象とし、幅広いテーマについての啓発を行う。	庁内関係各課 柏市民健康づくり推進員 各種団体及び企業関係	幅広いライフステージの市民を対象にポピュレーションアプローチをすることで、健康に関する気づきの場を作る。							啓発実施述数(全数)					アルコールに関するリーフレットを作成し、伝えたいことを絞って実施した。また、他課とも連携し、それぞれの場を生かした啓発を行った。29年度も同様に行っていきたい。	同様に実施	
											H24	H25	H26	H27	H28			
											-	-	6,109人	5,235人	4,869人			
											啓発実施者数(飲酒)							
											H24	H25	H26	H27	H28			
											-	-	0人	580人	1,200人			
(2)健康被害のリスクを高める飲酒習慣の防止																		
②毎日飲酒・多量飲酒する人の割合の減少																		
③妊婦の飲酒率の減少																		
所管課	事業名	事業概要 (対象者・内容等)	連携機関	期待する効果	ライフステージ						実績値 (実施回数・参加者数・参加率等)	平成28年度取り組みの成果、今後の課題と考察及び平成29年度の取り組みについて	平成30年度の方向性	委員の評価・アドバイス				
					乳幼児期	学童期	思春期	成年期	壮年期	高齢期								
保健所 保健予防課	本人・家族の相談・訪問支援等 (※)	〈アルコール相談〉 精神科医師や職員によるアルコールに関する相談。 〈アルコール・デイケアクラブ〉 アルコール依存者を対象に酒害教育やミーティングを通し新たなライフスタイルの形成を図る。 〈アルコール家族教室〉 アルコール問題を抱える家族を対象に、講義やミーティングをとおして依存症の理解を図り、家族の健康度を高める。 〈酒害教室〉 アルコール依存者や家族を対象に、ミーティングを通して、酒害や自助グループの効果を学び、アルコール依存からの回復を図る。 〈HAPPYプログラム 個別・集団〉 アルコール減酒のためのプログラムを実施し、適正飲酒を目指す。	柏断酒新生活会	より多くの市民がアルコール依存症や関連問題について学習し、依存症や家族の回復を図ることができる。							アルコール相談 精神科医による相談延数					アルコール減酒のためのプログラムとして、HAPPYプログラム(個別・集団)の実施を本格的に開始。アルコール事業について関係機関への啓発を強化したため、アルコール相談件数は昨年度より増加したが、アルコール家族教室・酒害教室参加者は減少した。平成29年度は、酒害や自助グループの効果を広く伝え、アルコール家族教室・酒害教室参加者増加をめざし、一人でも多くの方がアルコール依存から回復できるようにする。アルコール・デイケアクラブは平成29年度は終了し、フォローアップ実施予定。	継続	
											H24	H25	H26	H27	H28			
											9件	10件	11件	11件	12件			
											アルコール相談 職員による面談や訪問延数							
											401件	359件	106件	184件	228件			
											アルコール・デイケアクラブ 参加者延数							
											207人	182人	118人	60人	77人			
						アルコール家族教室 参加者延数												
						44人	36人	71人	81人	79人								
						酒害教室参加者延数												
						284人	289人	233人	246人	181人								

(3)未成年者の飲酒防止

④未成年者の飲酒経験率の減少

所管課	事業名	事業概要 (対象者・内容等)	連携機関	期待する効果	ライフステージ						実績値 (実施回数・参加者数・参加率等)					平成28年度取り組みの成果、今後の課題と考察及び平成29年度の取り組みについて	平成30年度の方向性	委員の評価・アドバイス
					乳幼児期	学童期	思春期	成年期	壮年期	高齢期	H24	H25	H26	H27	H28			
保健所 地域健康づくり課	啓発事業 (*)	イベント等の中で運動、食、タバコ等健康に関する啓発を実施。一般市民を対象とし、幅広いテーマについての啓発を行う。	庁内関係各課 柏市民健康づくり推進員 各種団体及び企業関係	幅広いライフステージの市民を対象にポピュレーションアプローチをすることで、健康に関する気づきの場を作る。	○	○	○	△	△	△	啓発実施回数(全数)					アルコールに関するリーフレットを作成し、伝えたいことを絞って実施した。また、他課とも連携をし、それぞれの場を生かした啓発を行った。 29年度も同様に行っていきたい。	同様に実施	
											H24	H25	H26	H27	H28			
											-	-	6,109人	5,235人	4,869人			
											啓発実施者数(飲酒)							
H24	H25	H26	H27	H28														
-	-	0人	580人	1,200人														

6. 歯・口腔の健康

(1) 歯・口腔の健康づくりに関する知識の普及																				
① 3歳児でむし歯がない人の割合の増加																				
② 12歳児のDMF歯数の減少																				
③ 歯肉炎を有する(歯周疾患要観察者を含む)人の割合の減少																				
④ 40歳で喪失歯のない人の割合の増加																				
⑤ 進行した歯肉炎(CPI指数3以上)を有する人の割合の減少																				
⑥ 60歳代における咀嚼良好者の割合の増加																				
所管課	事業名	事業概要 (対象者・内容等)	連携機関	期待する効果	ライフステージ						実績値 (実施回数・参加者数・参加率等)	平成28年度取り組みの成果、 今後の課題と考察及び平成29年 度の取り組みについて	平成30年度の方向性	委員の評価・アドバイス						
					乳幼児期	学童期	思春期	成年期	壮年期	高齢期										
保健所 地域健康づくり課	子育て支援 事業(母と子のつどい)	妊婦、1歳6月児くらいまでの乳幼児と保護者を対象に、市内20地域で実施 歯・口腔に関するワンポイント啓発、歯科相談	柏市民健康づくり推進員	・甘味食品や飲料を習慣化する児の割合の減少 ・歯みがき(仕上げみがき)の習慣化 ・かかりつけ歯科医を持っている割合の増加	○			△			つどい参加者数(歯科の回のみ)					・口腔の健康づくりを家族ぐるみで取り組むため、フッ化物応用やかかりつけ歯科医づくり等情報提供を行っている。 ・1歳6か月児健診問診票より、フッ化物配合歯磨き剤の使用が51.7%と増加傾向であるため、引き続き母と子のつどいでの具体的な啓発を実施する。	・マイナス1歳から歯・口腔の健康づくりを家族全体で取り組めるよう、引き続き正しい情報提供を行っていく。			
											H24	H25	H26	H27	H28				6,543人	6,710人
保健所 地域健康づくり課	2歳の歯☆ピカランド及びフッ化物歯面塗布事業	＜歯☆ピカ＞ 2歳児の親子を対象に食生活を含むむし歯予防の啓発及び歯みがき指導 ＜フッ化物＞ 2.6歳対象に医療機関にてフッ化物歯面塗布によるむし歯予防事業(無料受診券全対象者郵送)	柏歯科医師会 柏市医師会	・フッ化物配合歯みがき剤の利用率の増加 ・かかりつけ歯科医を持つ者の増加 ・定期健診を受ける者の増加	○		△				3歳児健診受診状況					・歯☆ピカランドにおけるフッ化物配合歯みがき剤の使用は78.4%、定期健診受診者割合も19.3%と僅かに増加している。 ・歯☆ピカランドの受診率42.0%、フッ化物歯面塗布事業受診率47.9%と微増であるものの50%に届いていない。歯☆ピカランド参加者の満足度は高いことから、引き続き参加率増加につながる周知方法や必要性の啓発方法検討を行う。	・各事業への参加を促す啓発内容・方法を検討し、受診率向上につなげる。			
											H24	H25	H26	H27	H28				対象者数	
											3,810人	3,791人	3,699人	3,566人	3,674人	歯科受診者数				
											3,344人	3,400人	3,292人	3,231人	3,313人	健歯者率				
											79.3%	82.7%	81.0%	80.5%	83.7%					

所管課	事業名	事業概要 (対象者・内容等)	連携機関	期待する効果	ライフステージ						実績値 (実施回数・参加者数・参加率等)	平成28年度取り組みの成果 今後の課題と考察及び平成29年 度の取り組みについて	平成30年度の方向性	委員の評価・アドバイス																																														
					乳幼児期	学童期	思春期	成年期	壮年期	高齢期																																																		
保健所 地域健康づくり課	母子歯科保健事業「歯っぴいかムカムカしわっ子作戦！！」	<地域における依頼の健康教育> 子育て支援センター、地域サロンにおいて、「育児講座」として地域の乳幼児をもつ保護者を対象にむし歯予防の啓発及び歯みがき指導 <幼稚園・保育園等での歯みがき指導> 保育園、幼稚園の園児を対象に食生活を含むむし歯予防の啓発及び歯みがき指導 依頼に応じて、保護者へもむし歯予防の啓発を実施	保育運営課 公立保育園 私立保育園 私立幼稚園 柏歯科医師会	・歯みがき(仕上げがき)の習慣化 ・かかりつけ歯科医を持つ者の増加 ・定期健診を受ける者の増加	○					△		<table border="1"> <tr><th colspan="5">依頼の健康教育(母子)実施件数</th></tr> <tr><th>H24</th><th>H25</th><th>H26</th><th>H27</th><th>H28</th></tr> <tr><td>3件</td><td>10件</td><td>8件</td><td>6件</td><td>9件</td></tr> <tr><th colspan="5">実施者数</th></tr> <tr><td>88人</td><td>264人</td><td>193人</td><td>137人</td><td>260人</td></tr> <tr><th colspan="5">巡回歯みがき指導実施園数</th></tr> <tr><td>12園</td><td>30園</td><td>39園</td><td>37園</td><td>40園</td></tr> <tr><th colspan="5">巡回歯みがき指導実施者数</th></tr> <tr><td>1,806人</td><td>2,997人</td><td>3,056人</td><td>3,062人</td><td>2,822人</td></tr> </table>	依頼の健康教育(母子)実施件数					H24	H25	H26	H27	H28	3件	10件	8件	6件	9件	実施者数					88人	264人	193人	137人	260人	巡回歯みがき指導実施園数					12園	30園	39園	37園	40園	巡回歯みがき指導実施者数					1,806人	2,997人	3,056人	3,062人	2,822人	<ul style="list-style-type: none"> 「出張歯みがき指導」のPRにより、実施園数が増加している。各園においてむし歯予防を意識した食後の歯みがき習慣のきっかけづくりにもつながっている。 H29年度も新規申込みが2園増え、現在26園から依頼がきている。育児講座の依頼も3園きており、児のみでなく保護者の健康づくり支援の機会にもなっている。 保育園・幼稚園における歯・口腔の健康づくりを推進していく方策の一つとして、園児の健康管理を担う看護師(保健師)育成がある。「歯みがき指導実施マニュアル」を見直し「歯・口の健康づくり指導者マニュアル」を作成する。また保育運営課主催看護師研修会において情報発信を行い指導者育成の一歩とする。 	・引き続き、依頼の健康教育を実施しつつ、指導者育成のための取り組みも行う。	
		依頼の健康教育(母子)実施件数																																																										
H24	H25	H26	H27	H28																																																								
3件	10件	8件	6件	9件																																																								
実施者数																																																												
88人	264人	193人	137人	260人																																																								
巡回歯みがき指導実施園数																																																												
12園	30園	39園	37園	40園																																																								
巡回歯みがき指導実施者数																																																												
1,806人	2,997人	3,056人	3,062人	2,822人																																																								
	小学校、中学校の児童、生徒を対象に食生活を含むむし歯、歯周病予防の啓発及び歯みがき指導 依頼に応じて、保護者へもむし歯、歯周病予防の啓発を実施	学校保健課 小学校 中学校 柏歯科医師会	・給食後の歯みがき習慣の徹底 ・食後の歯みがき習慣の徹底 ・フッ化物配合歯みがき剤の利用率の増加 ・定期健診を受ける者の増加	○					△		<table border="1"> <tr><th colspan="5">実施校数(他学年の依頼校)</th></tr> <tr><th>H24</th><th>H25</th><th>H26</th><th>H27</th><th>H28</th></tr> <tr><td>23校</td><td>30校</td><td>33校</td><td>31校</td><td>31校</td></tr> <tr><th colspan="5">他学年依頼の健康教育実施者数</th></tr> <tr><td>2,084人</td><td>2,559人</td><td>2,916人</td><td>3,116人</td><td>2,619人</td></tr> <tr><th colspan="5">12歳児の健歯者率</th></tr> <tr><td>44.2%</td><td>50.2%</td><td>51.4%</td><td>61.9%</td><td>59.4%</td></tr> <tr><th colspan="5">12歳児のDMF歯数</th></tr> <tr><td>1.49本</td><td>1.28本</td><td>1.19本</td><td>0.84本</td><td>0.99本</td></tr> </table>	実施校数(他学年の依頼校)					H24	H25	H26	H27	H28	23校	30校	33校	31校	31校	他学年依頼の健康教育実施者数					2,084人	2,559人	2,916人	3,116人	2,619人	12歳児の健歯者率					44.2%	50.2%	51.4%	61.9%	59.4%	12歳児のDMF歯数					1.49本	1.28本	1.19本	0.84本	0.99本	<ul style="list-style-type: none"> H27年度よりモデル校3校を選定。学校、学校歯科医と連携強化を図り、各学校の課題に沿った支援を実施。歯・口腔の健康づくりに関する意識向上につなげることができた。モデル校3校での取り組みはH28年度で終了したが、モデル校で取り組んだ内容を必要に応じて各学校で実施していく。また、3者連携強化を希望する学校に対しては、引き続き支援を行っていく。 	・学校、学校歯科医、児童、生徒、保護者に対し、保健所より適切な情報発信を行うことで、歯・口腔の健康づくりにつなげる。		
実施校数(他学年の依頼校)																																																												
H24	H25	H26	H27	H28																																																								
23校	30校	33校	31校	31校																																																								
他学年依頼の健康教育実施者数																																																												
2,084人	2,559人	2,916人	3,116人	2,619人																																																								
12歳児の健歯者率																																																												
44.2%	50.2%	51.4%	61.9%	59.4%																																																								
12歳児のDMF歯数																																																												
1.49本	1.28本	1.19本	0.84本	0.99本																																																								
保健所 地域健康づくり課	啓発事業 (※)	イベント等の中で運動、食・タバコ等健康に関する啓発を実施。一般市民を対象とし、幅広いテーマについての啓発を行う。	庁内関係各課 柏市民健康づくり推進員 各種団体及び企業関係	幅広いライフステージの市民を対象にポピュレーションアプローチをすることで、健康に関する気づきの場を作る。	○	○	○				<table border="1"> <tr><th colspan="5">啓発実施者数(全数)</th></tr> <tr><th>H24</th><th>H25</th><th>H26</th><th>H27</th><th>H28</th></tr> <tr><td>-</td><td>-</td><td>6,109人</td><td>5,235人</td><td>4,869人</td></tr> <tr><th colspan="5">啓発実施者数(歯・口腔の健康)</th></tr> <tr><td>-</td><td>-</td><td>150人</td><td>1,801人</td><td>2,156人</td></tr> </table>	啓発実施者数(全数)					H24	H25	H26	H27	H28	-	-	6,109人	5,235人	4,869人	啓発実施者数(歯・口腔の健康)					-	-	150人	1,801人	2,156人	<ul style="list-style-type: none"> 歯や口腔に関するリーフレットを作成し、伝えたいことに絞って実施した。また、他課及び関係機関と連携をし、それぞれの場を生かした啓発を行った。29年度も同様に行っていきたい。 	同様に実施																						
啓発実施者数(全数)																																																												
H24	H25	H26	H27	H28																																																								
-	-	6,109人	5,235人	4,869人																																																								
啓発実施者数(歯・口腔の健康)																																																												
-	-	150人	1,801人	2,156人																																																								

所管課	事業名	事業概要 (対象者・内容等)	連携機関	期待する効果	ライフステージ						実績値 (実施回数・参加者数・参加率等)	平成28年度取り組みの成果、 今後の課題と考察及び平成29年 度の取り組みについて	平成30年度の方向性	委員の評価・アドバイス				
					乳幼児期	学童期	思春期	成年期	壮年期	高齢期								
学校教育 部 学校保 健課	健康診断事 業	<p><定期歯科健診> 学校医による、全校児童 生徒のう歯・歯肉・歯列 等の健診</p> <p><歯みがき指導> 保健所歯科衛生士によ る全小学校1年生を対象 とした歯みがき指導(学 校保健課で日程・人数調 整)</p>	学校歯科医 保健所	12歳児のDMF 歯数の減少 歯肉炎を有する 人の割合の減 少									<p>定期健康診断を各校で4～6 月に実施。CO(要観察 歯)、GO(歯周疾患要観察者) に関して、秋冬の継続健診 を実施している学校もある (18/62校)。 歯みがき指導についても各 学校が積極的な取り組みを 図っているところであり、小 学1年生以外の学年も希望 により保健所歯科衛生士に よる歯みがき指導を実施し ている(小学校:25/42校)(中 学校:3/20校)。</p>	<p>柏歯科医師会では、 学校歯科医が研修会 等を実施している(現 在、学校歯科医マニ ュアル第3版まで改 訂され、それに基づ き、各校で検診が実 施されている。(今 後、養護教諭向けの マニュアルも配布予 定。)目標値達成に向 け、保健所歯科衛生 士、学校歯科医、養 護教諭の連携強化の 働きかけを図る。</p>				
					定期歯科健診状況						H24	H25				H26	H27	H28
					受診者数						3,319人	3,270人				3,326人	3,273人	3,268人
					12歳児のDMF歯数						1.49本	1.28本				1.19本	0.84本	0.99本
保健所 地域健 康づくり 課	歯周病検診 事業	対象者(満30、40、50、60 歳)に個人通知を行い、 委託医療機関にて歯周 ポケット測定等の歯周疾 患検診を実施する。	柏歯科医師会	30・40歳におけ る喪失歯のない 人の割合増加 30・40歳の進行 した歯肉炎を有 する人の割合減 少									<p>平成28年度は国の歯周病 検診マニュアル改定に伴 い、それに基づいた問診票 に沿って検診を実施した。 課題の1つであった受診期 間については検討し、平成 29年度より、誕生日検診方 式を廃止し、2ヶ月間であ った受診期間を約8ヶ月とす ることでより受診しやすい条件 整備を実施した。 平成29年度以上についても 対象者がより受診しやすい 環境づくりや受診意欲向上 のための課題を認識し、優 先順位をつけて取り組んで いく。</p>	<p>働く世代の歯周病予 防を推進するために 職域との連携及び母 子保健における保護 者世代に対する啓発 の強化を図る</p>				
					喪失歯のない人の割合(30歳)						H24	H25				H26	H27	H28
											93.3%	87.3%				85.6%	84.7%	88.9%
					喪失歯のない人の割合(40歳)						80.1%	74.9%				73.3%	72.3%	75.2%
					進行した歯肉炎(CPI指数3以上)を有する人 の割合(30歳)						51.5%	45.3%				55.4%	54.0%	57.3%
					進行した歯肉炎(CPI指数3以上)を有する人 の割合(40歳)						57.6%	53.6%				58.0%	60.1%	62.9%

所管課	事業名	事業概要 (対象者・内容等)	連携機関	期待する効果	ライフステージ						実績値 (実施回数・参加者数・参加率等)					平成28年度取り組みの成果、 今後の課題と考察及び平成29年 度の取り組みについて	平成30年度の方向性	委員の評価・アドバイス
					乳幼児期	学童期	思春期	成年期	壮年期	高齢期	H24	H25	H26	H27	H28			
保健福祉部 地域医療推進課	訪問口腔衛生指導事業補助金	・訪問口腔衛生指導の実施 ・医療機関(病院・歯科医院等)との連絡調整 ・一般市民への啓発事業 ・地域包括支援センター、介護保険事業者等の従事者説明及び講演会の実施等への補助事業	柏歯科医師会	・在宅療養者が治療及び口腔ケアを受けることにより、口腔機能を維持し、生活の質の向上を図る。 ・市民が、在宅療養状態になっても、安心して歯科治療を受けることができる環境整備。						○	訪問口腔衛生指導(訪問口腔ケア)を実施した方の口腔機能向上					28年度に歯科介護支援センターの歯科衛生士が実施した訪問口腔ケア実施件数は232件であった。また、口腔ケアの啓発活動は13回実施できた。多職種との連携会議への参加や研修会の開催により、多職種からの相談が増加している。また、口腔ケアの実施により、誤嚥性肺炎の予防につながるケースも多く、在宅療養者のQOLの向上に寄与した。29年度も多職種との連携強化充実を支援し、口腔ケアの実施数の増加を図る。また、特区制度による歯科衛生士事務所との位置づけの整理を検討する。	特区歯科衛生士事務所の課題を整理しながら、将来的には歯科介護支援センターとの合流が可能となるように検討を行う。	
											80%	70%	80%	80%	80%			

(2) 定期的な歯科健康診査の受診勧奨																		
⑦ 過去1年間に歯科健康診査を受診した人の割合(成人)の増加																		
所管課	事業名	事業概要 (対象者・内容等)	連携機関	期待する効果	ライフステージ						実績値 (実施回数・参加者数・参加率等)	平成28年度取り組みの成果、今後の課題と考察及び平成29年度の取り組みについて	平成30年度の方向性	委員の評価・アドバイス				
					乳幼児期	学童期	思春期	成年期	壮年期	高齢期								
保健福祉部 地域医療推進課	特殊歯科診療事業支援	一般的な診療が難しい障害児・者、高齢者等に診療を行う特殊歯科診療所の運営に対し補助金を交付	柏市医療公社 柏歯科医師会	一般診療が難しい方本人及び家族の負担軽減。生活の質向上	○	○	○	○	○	○	患者数					28年度については、特殊歯科診療所として一定程度定着したためか、前年度を上回る患者総数となり、年間で10回以上の診察を受けた再診患者数も100人以上であった。29年度も、継続的に歯科医師会と連携した周知活動を支援する。また、歯科医師会からの依頼で柏市予防衛生事業の一環として3施設の障害者支援施設歯科健診に協力した。障害者施設のニーズ調査など、治療が必要な患者の把握と具体的な対応方法を医療公社をはじめ、柏歯科医師会及び庁内関係各課と共に検討する。	障害者歯科保健・医療の取り組みの一環として、障害福祉課・地域健康づくり課・柏歯科医師会と連携を図り、必要な方が適切な医療を受けられるような体制づくりを働きかける。	
											H24	H25	H26	H27	H28			
											2,540人	3,206人	3,241人	3,822人	4,194人			
保健所 地域健康づくり課	歯周病検診事業(※)	対象者(満30、40、50、60歳)に個人通知を行い、委託医療機関にて歯周ポケット測定等の歯周疾患検診を実施する。	柏歯科医師会	過去1年間に歯科健康診査を受診した人の割合増加	△	△	○	○	過去1年間に歯科健康診査を受診した人の割合(成人)					平成28年度は国の歯周病検診マニュアル改定に伴い、それに基づいた問診票に沿って検診を実施した。課題の1つであった受診期間については検討し、平成29年度より、誕生日検診方式を廃止し、2ヶ月間であった受診期間を約8ヶ月とすることでより受診しやすい条件整備を実施した。平成29年度以上についても対象者がより受診しやすい環境づくりや受診意欲向上のための課題を認識し、優先順位をつけて取り組んでいく。	働く世代の歯周病予防を推進するために職域との連携及び母子保健における保護者世代に対する啓発の強化を図る			
									H24	H25	H26	H27	H28					
									全体									
									25.0%	28.0%	24.4%	23.0%	29.3%					
									30歳									
									26.0%	21.5%	18.8%	23.3%	25.8%					
									40歳									
									21.9%	25.4%	23.7%	31.1%	31.1%					
									50歳									
									29.1%	30.2%	19.6%	24.6%	28.1%					
60歳																		
—	36.4%	35.2%	35.8%	31.8%														

所管課	事業名	事業概要 (対象者・内容等)	連携機関	期待する効果	ライフステージ						実績値 (実施回数・参加者数・参加率等)	平成28年度取り組みの成果、 今後の課題と考察及び平成29年 度の取り組みについて	平成30年度の方向性	委員の評価・アドバイス				
					乳幼児期	学童期	思春期	成年期	壮年期	高齢期								
保健所 地域健康づくり 課	口腔衛生大会補助金	柏歯科医師会が主催する地域歯科保健医療啓発の一環。 ・各種コンクール実施、表彰 ・口腔がん検診 ・市民向け口腔啓発企画等への補助事業	柏歯科医師会教育委員会	歯や口腔の健康づくりに関心を持ち、主体的に取り組む市民が増える。	△	○	○	△	△	○	口腔衛生大会参加者数					身近な地域での口腔の健康づくりに関する啓発を積極的に実施し、啓発の場を広げた。 毎年6月に実施していた口腔衛生大会も第28回となった平成28年度の大会を以って終了し、さらに地域に根ざした啓発活動の強化を図ることとしている。	歯科医師会、地域、行政等が連携し、効果的かつ効率的に口腔に関する健康づくりの啓発強化及び対象者のニーズに合わせた情報提供に努める	
											H24	H25	H26	H27	H28			
保健所 地域健康づくり 課	かしわ歯科相談室	歯・口腔の健康に関して、歯科医師・歯科衛生士が個別の相談に応じ、必要な指導及び助言を行う。	柏歯科医師会	歯・口腔の健康に関する不安の軽減	○	○	○	○	○	○	かしわ歯科相談室利用者数					歯科医院での受診中の限られた時間では確認することができない治療内容や疑問等に関する確認及び解決の場として利用しているケースが多く見られる。 歯科に関する相談機関のひとつとして、今後も多くの市民が活用できるよう周知を行っていく。	利用者のニーズに応じた対応や、より専門性の高い医療機関への紹介を行う	
											H24	H25	H26	H27	H28			

(3) 歯・口腔の健康づくりのための環境整備																		
⑧ 歯や口の状態に関する満足度(成人)																		
所管課	事業名	事業概要 (対象者・内容等)	連携機関	期待する効果	ライフステージ						実績値 (実施回数・参加者数・参加率等)	平成28年度取り組みの成果、今後の課題と考察及び平成29年度の取り組みについて	平成30年度の方向性	委員の評価・アドバイス				
					乳幼児期	学童期	思春期	成年期	壮年期	高齢期								
保健所 地域健康づくり課	歯周病検診事業 (※)	対象者(満30, 40, 50, 60歳)に個人通知を行い、委託医療機関にて歯周ポケット測定等の歯周疾患検診を実施する。	柏歯科医師会	歯や口の状態に満足している人の割合増加							口腔内の満足度についてほぼ満足している人の割合					平成28年度は国の歯周病検診マニュアル改定に伴い、それに基づいた問診票に沿って検診を実施した。課題の1つであった受診期間については検討し、平成29年度より、誕生日検診方式を廃止し、2ヶ月間であった受診期間を約8ヶ月とすることでより受診しやすい条件整備を実施した。平成29年度以上についても対象者がより受診しやすい環境づくりや受診意欲向上のための課題を認識し、優先順位をつけて取り組んでいく。	働く世代の歯周病予防を推進するために職域との連携及び母子保健における保護者世代に対する啓発の強化を図る	
											H24	H25	H26	H27	H28			
											全体							
											32.0%	33.9%	32.0%	32.1%	33.8%			
											30歳							
											30.8%	38.7%	27.7%	32.3%	35.1%			
											40歳							
											25.4%	35.1%	34.5%	31.4%	32.7%			
											50歳							
											29.7%	28.3%	28.6%	31.0%	31.4%			
						60歳												
						—	28.3%	35.2%	34.2%	36.3%								
保健所 地域健康づくり課	かしわ歯科相談室 (*)	歯・口腔の健康に関して、歯科医師・歯科衛生士が個別の相談に応じ、必要な指導及び助言を行う。	柏歯科医師会	歯・口腔の健康に関する不安の軽減							かしわ歯科相談室利用者数					歯科医院での受診中の限られた時間では確認することができない治療内容や疑問等に関する確認及び解決の場として利用しているケースが多く見られる。歯科に関する相談機関のひとつとして、今後も多くの市民が活用できるよう周知を行っていく。	利用者のニーズに応じた対応や、より専門性の高い医療機関への紹介を行う	
											H24	H25	H26	H27	H28			
											64人	91人	77人	78人	74人			

所管課	事業名	事業概要 (対象者・内容等)	連携機関	期待する効果	ライフステージ					実績値 (実施回数・参加者数・参加率等)					平成28年度取り組みの成果、今後の課題と考察及び平成29年度の取り組みについて	平成30年度の方向性	委員の評価・アドバイス					
					乳幼児期	学童期	思春期	成年期	壮年期	高齢期	H24	H25	H26	H27				H28				
保健福祉部 福祉政策課	柏フレイル予防プロジェクト2025 (*)	「フレイル(虚弱)」という概念を新たに取り入れ、市民、関係団体、学識経験者、市による「推進委員会」を設置・運営しながら、健康づくり事業の効果的な運動と地域を基盤とした市民主体の活動を推進	医師会、歯科医師会、薬剤師会、東京大学、ふるさと協議会、社会福祉協議会、民生委員児童委員、柏市民健康づくり推進員、スポーツ推進委員、東葛北部栄養士会、リハビリテーション連絡会、地域包括支援センターなど	市民の意識・行動変容(栄養、身体活動、社会参加の促進)												市民の意識・行動変容(栄養、身体活動、社会参加の促進)	推進委員会実施回数 H24 H25 H26 H27 H28 - - - 1回 3回	平成28年度取り組みの成果、今後の課題と考察及び平成29年度の取り組みについて ・柏フレイル予防プロジェクト2025推進委員会において、「フレイル予防の概念の下、「三位一体(栄養・運動・社会参加)」の活動を通じた健康で充実した生活を営める健康長寿のまちを目指す」とした目標を掲げ、フレイル予防によるまちづくりの実現を目指す。 ・H29年度は引き続きフレイルチェックを基盤として市民の意識(気づき)、行動変容を創出し、健康づくり・介護予防の地域展開を図っていく。 ・庁内連携体制については、健康づくり業務庁内連絡会等を活用し、施策の横断的な具体連携を図っていく。	平成30年度の方向性 ・フレイル予防によるまちづくりの実現を目指し、柏市、地域活動団体、職能団体が一体、運動した活動を実践していく。 ・関係部署等の計画との運動による一体的な施策の実践を図っていく。	委員の評価・アドバイス		
保健福祉部 福祉活動推進課	フレイル予防事業 (※)	主に高齢者に対するフレイル(介護予防)事業のうち、口腔機能や嚥下をテーマとしたプログラムについて、歯科医師、歯科衛生士、言語聴覚士等が講座を行う。	柏歯科医師会、柏歯科介護センター、柏市在宅リハビリテーション連絡会、地域包括支援センターなど	市民の意識・行動変容(口腔機能の改善)												市民の意識・行動変容(口腔機能の改善)	フレイル予防講座(口腔)の参加者数 H24 H25 H26 H27 H28 介護予防センター主催の教室 - - - - 378人 フレイル予防出前講座 - - - - 285人 地域包括支援センター主催の教室 - - - - 208人	柏フレイル予防プロジェクト2025推進委員会と連動し、平成28年度より取り組みを開始した。オールフレイルの概念及び口腔機能プログラムについて、平成29年度も引き続き実施していく。	介護予防の拠点施設である介護予防センターのほか、市内全域に展開できるように、地域包括支援センター主催の教室や出前講座等においても実施する。	委員の評価・アドバイス		
市民生活部 保険年金課	お口のクリーニング事業	18歳以上の国保加入者と後期高齢者を対象に、保健事業利用券を活用した歯の付着物の除去、健康相談、衛生指導等	柏歯科医師会	歯・口腔の健康状態の改善、生活習慣病の予防											市民の意識・行動変容(口腔機能の改善)	お口のクリーニング利用者数 H24 H25 H26 H27 H28 617人 687人 845人 1,044人 1,190人	平成19年度から開始した事業で、健康講座の実施等により年々利用者は増加している。 平成28年度は健診結果で血糖値が高い人約230人に利用奨励し、利用と受診につながった。 平成29年度も継続実施予定。	継続実施予定	委員の評価・アドバイス			

7. 糖尿病

(1)若い世代からの糖尿病の発症予防と重症化予防																																
①糖尿病の指摘を受けた人の割合の減少																																
②メタボリックシンドローム[内臓脂肪症候群]の該当者及び予備群該当者の割合(40歳以上)の減少																																
③ヘモグロビンA1cが6.1%(NGSP値6.5%)以上の人の割合の減少																																
④じん臓機能障害による身体障害者手帳1級所持者数の減少																																
⑤糖尿病医療費(国民健康保険 1月あたりの総点数)の減少																																
所管課	事業名	事業概要 (対象者・内容等)	連携機関	期待する効果	ライフステージ						実績値 (実施回数・参加者数・参加率等)	平成28年度取り組みの成果、今後の課題と考察及び平成29年度の取り組みについて	平成30年度の方向性	委員の評価・アドバイス																		
					乳幼児期	学童期	思春期	成年期	壮年期	高齢期																						
市民生活部 保険年金課	柏市国民健康保険特定健康診査・特定保健指導	<p><特定健康診査> 40歳以上の柏市国保加入者を対象に、生活習慣病予防を目的とした健診を実施。</p> <p><特定保健指導> 特定健診の結果よりメタボリックシンドロームのリスクのある対象者を抽出し、6ヵ月間の生活習慣改善のための特定保健指導を実施。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・柏市医師会 ・ちば県民保健予防財団 ・人間ドック、脳ドック実施医療機関 ・JA(ちば東葛、東葛ふたば、いちかわ) ・千葉県厚生農業共同組合連合会 ・沼南商工会 ・柏商工会議所 	生活習慣病の発症及び重症化の予防								<p>特定健康診査受診率</p> <table border="1"> <tr> <th>H24</th> <th>H25</th> <th>H26</th> <th>H27</th> <th>H28</th> </tr> <tr> <td>38.2%</td> <td>40.0%</td> <td>40.8%</td> <td>42.0%</td> <td>11月1日以降確定</td> </tr> </table>	H24	H25	H26	H27	H28	38.2%	40.0%	40.8%	42.0%	11月1日以降確定	<p>メタボリックシンドローム該当者及び予備群の割合は男性の60歳代以上で増加していることから、通知や電話で特定保健指導の利用勧奨を行い、指導実施率は向上した。</p> <p>平成28年度は、健診実施医療機関及び特定保健指導の指導担当者を対象に腎臓病専門医による研修会を実施し、慢性腎臓病(CKD)対策を推進した。</p> <p>健診から早期にCKDのリスクの高い人を見つけ、かかりつけ医と腎専門医が連携して治療にあたることのできるよう体制の調整を図ってきた。</p> <p>平成29年度から腎専門基幹病院を設け、腎専門医への紹介の流れなどの体制を整え実施する。</p>	医療機関や衛生部門等、関係部署との連携により更に生活習慣病の発症、重症化予防の取り組みを推進する。								
					H24	H25	H26	H27	H28																							
					38.2%	40.0%	40.8%	42.0%	11月1日以降確定																							
											<p>特定保健指導実施率</p> <table border="1"> <tr> <th></th> <th></th> <th></th> <th></th> <th></th> </tr> <tr> <td>18.3%</td> <td>18.9%</td> <td>15.0%</td> <td>20.1%</td> <td>同上</td> </tr> </table>						18.3%	18.9%	15.0%	20.1%	同上											
					18.3%	18.9%	15.0%	20.1%	同上																							
											<p>メタボリックシンドローム該当者の割合</p> <table border="1"> <tr> <th>性別</th> <th>H24</th> <th>H25</th> <th>H26</th> <th>H27</th> <th>H28</th> </tr> <tr> <td>男性</td> <td>23.6%</td> <td>23.6%</td> <td>24.2%</td> <td>25.4%</td> <td>同上</td> </tr> <tr> <td>女性</td> <td>7.5%</td> <td>7.2%</td> <td>7.3%</td> <td>7.6%</td> <td>同上</td> </tr> </table>	性別	H24	H25	H26	H27	H28	男性	23.6%	23.6%	24.2%	25.4%				同上	女性	7.5%	7.2%	7.3%	7.6%	同上
					性別	H24	H25	H26	H27	H28																						
					男性	23.6%	23.6%	24.2%	25.4%	同上																						
					女性	7.5%	7.2%	7.3%	7.6%	同上																						
						<p>メタボリックシンドローム予備群の割合</p> <table border="1"> <tr> <th>性別</th> <th>H24</th> <th>H25</th> <th>H26</th> <th>H27</th> <th>H28</th> </tr> <tr> <td>男性</td> <td>17.8%</td> <td>17.4%</td> <td>17.3%</td> <td>17.3%</td> <td>同上</td> </tr> <tr> <td>女性</td> <td>5.8%</td> <td>5.8%</td> <td>6.2%</td> <td>6.0%</td> <td>同上</td> </tr> </table>	性別	H24	H25	H26	H27	H28	男性	17.8%	17.4%	17.3%	17.3%	同上	女性	5.8%	5.8%	6.2%	6.0%	同上								
性別	H24	H25	H26	H27	H28																											
男性	17.8%	17.4%	17.3%	17.3%	同上																											
女性	5.8%	5.8%	6.2%	6.0%	同上																											
						<p>ヘモグロビンA1cが6.1%(NGSP値で6.5%)以上の人の割合</p> <table border="1"> <tr> <th></th> <th>H24</th> <th>H25</th> <th>H26</th> <th>H27</th> <th>H28</th> </tr> <tr> <td></td> <td>7.7%</td> <td>7.8%</td> <td>7.7%</td> <td>7.7%</td> <td>同上</td> </tr> </table>		H24	H25	H26	H27	H28		7.7%	7.8%	7.7%	7.7%	同上														
	H24	H25	H26	H27	H28																											
	7.7%	7.8%	7.7%	7.7%	同上																											

所管課	事業名	事業概要 (対象者・内容等)	連携機関	期待する効果	ライフステージ						実績値 (実施回数・参加者数・参加率等)	平成28年度取り組みの成果、今後の課題と考察及び平成29年度の取り組みについて	平成30年度の方向性	委員の評価・アドバイス				
					乳幼児期	学童期	思春期	成年期	壮年期	高齢期								
市民生活部 保険年金課	国保 保健事業利用費助成事業 (18歳から39歳の健診)	18歳以上の柏市国保被保険者に対し、申請に基づき保健事業利用券を年間8枚交付(1枚1,000円相当)。18歳から39歳の健診事業、はり等施術事業、お口のクリーニング事業に利用できる。18歳から39歳の健診事業は26年度からの新規事業。受診希望者に対し受診券を発行し、特定健診と同様の健診を実施する	柏市医師会	被保険者の健康の保持増進 若い世代からの生活習慣病予防										18歳から39歳の健診実施状況 H24 H25 H26 H27 H28 受診券発行数 未実施 未実施 72人 83人 237人 受診者数 未実施 未実施 42人 53人 158人	平成27年度に比べ28年度は郵送による受診勧奨を行ったことにより利用者が大幅に増加した。3年目の事業なので、市民周知及び受診勧奨を行うことにより、更なる利用拡大を狙い、若年層からの生活習慣病予防対策として実施していきたい。	18歳から39歳の健診の周知に努め、受診者数の増加を図る。 健診結果で生活習慣病のリスクのある対象者に対し、保健指導及び医療機関受診勧奨を推進する。		
保健所 成人健診課	柏市健康診査 (無保険者)	40歳以上で、無保険の生活保護受給者を対象に、特定健診と同内容の健診を指定医療機関にて実施。対象者に個別通知、希望者は申し込み。	柏市医師会	内臓脂肪症候群の予防、罹患している病状の安定や重症化予防への行動が取れるようにする。									受診者数 H24 H25 H26 H27 H28 132人 145人 210人 224人 239人	無保険者に対し、健康診査を実施した。平成29年度も同様に継続実施している。	平成30年度も同様に継続予定である。 ※本事業は、健康診査が目的の第一である。対象者の特性から、フォローも慎重に進めていく必要がある。			
保健所 地域健康づくり課	柏市地域栄養相談システム	生活習慣病等で治療中の市民が、かかりつけ医の紹介により、市内の病院で管理栄養士の栄養指導が受けられるシステム。かかりつけ医での治療及び適切な食事療法を継続し、生活習慣病の重症化予防を図る。	柏市医師会 病院栄養士協議会(柏地区)	内臓脂肪症候群の予防、罹患している病状の安定や重症化予防への行動が取れるようにする。									利用者数(延べ数) H24 H25 H26 H27 H28 63人 101人 109人 98人 225人	病院栄養士協議会(柏地区)の協力により、塩分やエネルギーを控えたレシピを載せたリーフレットを作成。裏面には当システムの案内を掲載し、必要な市民が利用できるよう診療所等に配布し、周知を図っている。また、H28年度から柏市国保の特定健診記録票に当システム利用のチェック欄を設けた。医療機関での食事指導が必要な受診者に対し、医師の判断のもと、利用を促している。	当システムを必要な市民が利用できるよう関係部署、関係機関と連携し引き続き周知を図る。また、食に関する関係団体の協力を得ながら効果的にレシピを配布し、減塩やエネルギーを控えるコツ、当システムの紹介を行う事ができるようにする。			

(2) 定期的な健康診査の受診																																																																																					
⑥ 柏市国民健康保険特定健康診査の受診率(法定報告)の増加																																																																																					
⑦ 柏市国民健康保険特定保健指導の実施率(法定報告)の増加																																																																																					
⑧ 糖尿病の指摘を受けたが、放置している人の割合の減少																																																																																					
所管課	事業名	事業概要 (対象者・内容等)	連携機関	期待する効果	ライフステージ						実績値 (実施回数・参加者数・参加率等)	平成28年度取り組みの成果、今後の課題と考察及び平成29年度の取り組みについて	平成30年度の方向性	委員の評価・アドバイス																																																																							
					乳幼児期	学童期	思春期	成年期	壮年期	高齢期																																																																											
市民生活部 保険年金課	柏市国民健康保険特定健康診査・特定保健指導(*)	<p><特定健康診査> 40歳以上の柏市国保加入者を対象に、生活習慣病予防を目的とした健診を実施。</p> <p><特定保健指導> 特定健診の結果よりメタボリックシンドロームのリスクのある対象者を抽出し、6か月間の生活習慣改善のための特定保健指導を実施。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・柏市医師会 ・ちば県民保健予防財団 ・人間ドック、脳ドック実施医療機関 ・JA(ちば東葛、東葛ふたば、いちかわ) ・千葉県厚生農業共同組合連合会 ・沼南商工会 ・柏商工会議所 	生活習慣病の発症及び重症化の予防								<p>特定健康診査受診率</p> <table border="1"> <tr> <th>H24</th> <th>H25</th> <th>H26</th> <th>H27</th> <th>H28</th> </tr> <tr> <td>38.2%</td> <td>40.0%</td> <td>40.8%</td> <td>42.0%</td> <td>11月1日以降確定</td> </tr> </table> <p>特定保健指導実施率</p> <table border="1"> <tr> <th></th> <th>H24</th> <th>H25</th> <th>H26</th> <th>H27</th> <th>H28</th> </tr> <tr> <td></td> <td>18.3%</td> <td>18.9%</td> <td>15.0%</td> <td>20.1%</td> <td>同上</td> </tr> </table> <p>メタボリックシンドローム該当者の割合</p> <table border="1"> <tr> <th>性別</th> <th>H24</th> <th>H25</th> <th>H26</th> <th>H27</th> <th>H28</th> </tr> <tr> <td>男性</td> <td>23.6%</td> <td>24.2%</td> <td>25.4%</td> <td>同上</td> <td></td> </tr> <tr> <td>女性</td> <td>7.5%</td> <td>7.3%</td> <td>7.6%</td> <td>同上</td> <td></td> </tr> </table> <p>メタボリックシンドローム予備群の割合</p> <table border="1"> <tr> <th>性別</th> <th>H24</th> <th>H25</th> <th>H26</th> <th>H27</th> <th>H28</th> </tr> <tr> <td>男性</td> <td>17.8%</td> <td>17.3%</td> <td>17.3%</td> <td>同上</td> <td></td> </tr> <tr> <td>女性</td> <td>5.8%</td> <td>6.2%</td> <td>6.0%</td> <td>同上</td> <td></td> </tr> </table> <p>ヘモグロビンA1cが6.1%(NGSP値で6.5%以上)の人の割合</p> <table border="1"> <tr> <th></th> <th>H24</th> <th>H25</th> <th>H26</th> <th>H27</th> <th>H28</th> </tr> <tr> <td></td> <td>7.7%</td> <td>7.8%</td> <td>7.7%</td> <td>7.7%</td> <td>同上</td> </tr> </table>	H24	H25	H26	H27	H28	38.2%	40.0%	40.8%	42.0%	11月1日以降確定		H24	H25	H26	H27	H28		18.3%	18.9%	15.0%	20.1%	同上	性別	H24	H25	H26	H27	H28	男性	23.6%	24.2%	25.4%	同上		女性	7.5%	7.3%	7.6%	同上		性別	H24	H25	H26	H27	H28	男性	17.8%	17.3%	17.3%	同上		女性	5.8%	6.2%	6.0%	同上			H24	H25	H26	H27	H28		7.7%	7.8%	7.7%	7.7%	同上	<p>健診未受診者の過去の健診受診履歴や医科レセプトの状況をもとに、対象者の特定に応じた受診勧奨を実施し、受診率が上昇した。平成29年度も継続実施の予定。特定保健指導対象者への指導利用勧奨を積極的に行い、実施率が向上した。</p>	医療機関や衛生部門等、関係部署との連携により更に生活習慣病の発症、重症化予防の取り組みを推進する。	
					H24	H25	H26	H27	H28																																																																												
					38.2%	40.0%	40.8%	42.0%	11月1日以降確定																																																																												
						H24	H25	H26	H27	H28																																																																											
						18.3%	18.9%	15.0%	20.1%	同上																																																																											
					性別	H24	H25	H26	H27	H28																																																																											
					男性	23.6%	24.2%	25.4%	同上																																																																												
					女性	7.5%	7.3%	7.6%	同上																																																																												
					性別	H24	H25	H26	H27	H28																																																																											
					男性	17.8%	17.3%	17.3%	同上																																																																												
女性	5.8%	6.2%	6.0%	同上																																																																																	
	H24	H25	H26	H27	H28																																																																																
	7.7%	7.8%	7.7%	7.7%	同上																																																																																
市民生活部 保険年金課	国保 保健事業利用費助成事業(18歳から39歳の健診)(*)	<p>18歳以上の柏市国保被保険者に対し、申請に基づき保健事業利用券を年間8枚交付(1枚1,000円相当)。18歳から39歳の健診事業、はり等施術事業、お口のクリーニング事業に利用できる。18歳から39歳の健診事業は26年度からの新規事業。受診希望者に対し受診券を発行し、特定健診と同様の健診を実施する。</p>	柏市医師会	被保険者の健康の保持増進 若い世代からの生活習慣病予防							<p>18歳から39歳の健診実施状況</p> <table border="1"> <tr> <th>H24</th> <th>H25</th> <th>H26</th> <th>H27</th> <th>H28</th> </tr> <tr> <td>未実施</td> <td>未実施</td> <td>72人</td> <td>83人</td> <td>237人</td> </tr> </table> <p>受診券発行数</p> <table border="1"> <tr> <th></th> <th>H24</th> <th>H25</th> <th>H26</th> <th>H27</th> <th>H28</th> </tr> <tr> <td></td> <td>未実施</td> <td>未実施</td> <td>42人</td> <td>53人</td> <td>158人</td> </tr> </table> <p>受診者数</p> <table border="1"> <tr> <th></th> <th>H24</th> <th>H25</th> <th>H26</th> <th>H27</th> <th>H28</th> </tr> <tr> <td></td> <td>未実施</td> <td>未実施</td> <td>42人</td> <td>53人</td> <td>158人</td> </tr> </table>	H24	H25	H26	H27	H28	未実施	未実施	72人	83人	237人		H24	H25	H26	H27	H28		未実施	未実施	42人	53人	158人		H24	H25	H26	H27	H28		未実施	未実施	42人	53人	158人	<p>平成28年度は郵送による受診勧奨を行ったことにより利用者が大幅に増加した。平成29年度も継続実施の予定。</p>	<p>18歳から39歳の健診の周知に努め、受診者数の増加を図る。</p> <p>健診結果で生活習慣病のリスクのある対象者に対し、保健指導及び医療機関受診勧奨を推進する。</p>																																						
					H24	H25	H26	H27	H28																																																																												
					未実施	未実施	72人	83人	237人																																																																												
						H24	H25	H26	H27	H28																																																																											
						未実施	未実施	42人	53人	158人																																																																											
						H24	H25	H26	H27	H28																																																																											
						未実施	未実施	42人	53人	158人																																																																											

所管課	事業名	事業概要 (対象者・内容等)	連携機関	期待する効果	ライフステージ						実績値 (実施回数・参加者数・参加率等)					平成28年度取り組みの成果、今後の課題と考察及び平成29年度の取り組みについて	平成30年度の方向性	委員の評価・アドバイス	
					乳幼児期	学童期	思春期	成年期	壮年期	高齢期	受診者数								
							H24	H25	H26	H27	H28								
保健所 成人健 診課	柏市健康診 査 (無保険者) (*)	40歳以上で、無保険の生活保護受給者を対象に、特定健診と同内容の健診を指定医療機関にて実施。 対象者に個別通知、希望者は申し込み。	柏市医師会	内臓脂肪症候群の予防、罹患している病状の安定や重症化予防への行動が取れるようにする。						○	○	132人	145人	210人	224人	239人	無保険者に対し、健康診査を実施した。平成29年度も同様に継続実施している。	平成30年度も同様に継続予定である。 ※本事業は、健康診査が目的の第一である。対象者の特性から、フォローも慎重に進めていく必要がある。	

8. 循環器疾患

(1)若い世代からの循環器疾患の発症予防と重症化予防																				
①循環器疾患の指摘を受けた人の割合の減少																				
②循環器疾患による死亡者数の減少																				
③循環器疾患医療費(国民健康保険 1月あたりの総点数)の減少																				
④LDLコレステロールが140mg/dl以上の人の割合(40歳以上)の減少																				
⑤収縮期血圧が140mmHg以上の人の割合(40歳以上)の減少																				
⑥拡張期血圧が90mmHg以上の人の割合(40歳以上)の減少																				
⑦【再掲】メタボリックシンドローム[内臓脂肪症候群]の該当者及び予備群該当者の割合(40歳以上)の減少																				
所管課	事業名	事業概要 (対象者・内容等)	連携機関	期待する効果	ライフステージ						実績値 (実施回数・参加者数・参加率等)	平成28年度取り組みの成果、今後の課題と考察及び平成29年度の取り組みについて	平成30年度の方向性	委員の評価・アドバイス						
					乳幼児期	学童期	思春期	成年期	壮年期	高齢期										
市民生活部 保険年金課	柏市国民健康保険特定健康診査・特定保健指導(※)	<p><特定健康診査> 40歳以上の柏市国保加入者を対象に、生活習慣病予防を目的とした健診を実施。</p> <p><特定保健指導> 特定健診の結果よりメタボリックシンドロームのリスクのある対象者を抽出し、6ヵ月間の生活習慣改善のための特定保健指導を実施。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・柏市医師会 ・ちば県民保健予防財団 ・人間ドック、脳ドック実施医療機関 ・JA(ちば東葛、東葛ふたば、いちかわ) ・千葉県厚生農業共同組合連合会 ・沼南商工会 ・柏商工会議所 	生活習慣病の発症及び重症化の予防																
					特定健康診査受診率(再掲)															
					H24	H25	H26	H27	H28											
					38.2%	40.0%	40.8%	42.0%	11月1日以降確定											
					特定保健指導実施率(再掲)															
					18.3%	18.9%	15.0%	20.1%	同上											
					LDLコレステロールが140mg/dl以上の人の割合(40歳以上)															
					男性	26.1%	27.4%	27.5%	28.3%	同上										
					女性	35.8%	36.2%	33.3%	37.2%	同上										
					収縮期血圧が140mmHg以上の人の割合(40歳以上)															
					男性	27.5%	26.8%	27.2%	27.0%	同上										
					女性	22.2%	22.2%	21.8%	22.6%	同上										
拡張期血圧が90mmHg以上の人の割合(40歳以上)																				
男性	15.1%	15.1%	15.8%	15.6%	同上															
女性	8.5%	8.8%	8.5%	9.3%	同上															

所管課	事業名	事業概要 (対象者・内容等)	連携機関	期待する効果	ライフステージ						実績値 (実施回数・参加者数・参加率等)	平成28年度取り組みの成果、今後の課題と考察及び平成29年度の取り組みについて	平成30年度の方向性	委員の評価・アドバイス				
					乳幼児期	学童期	思春期	成年期	壮年期	高齢期								
市民生活部 保険年金課	国保 保健事業利用費助成事業 (18歳から39歳の健診) (*)	18歳以上の柏市国保被保険者に対し、申請に基づき保健事業利用券を年間8枚交付(1枚1,000円相当)。18歳から39歳の健診事業、はり等施術事業、お口のクリーニング事業に利用できる。18歳から39歳の健診事業は26年度からの新規事業。受診希望者に対し受診券を発行し、特定健診と同様の健診を実施する。	柏市医師会	被保険者の健康の保持増進 若い世代からの生活習慣病予防									18歳から39歳の健診実施状況 H24 H25 H26 H27 H28 受診券発行数 未実施 未実施 72人 83人 237人 受診者数 未実施 未実施 42人 53人 158人 平成28年度は郵送による受診勧奨を行ったことにより利用者が大幅に増加した。平成29年度も継続実施の予定。	18歳から39歳の健診の周知に努め、受診者数の増加を図る。健診結果で生活習慣病のリスクのある対象者に対し、保健指導及び医療機関受診勧奨を推進する。				
											18歳から39歳の健診実施状況							
											受診券発行数							
											受診者数							
保健所 成人健診課	柏市健康診査 (無保険者) (*)	40歳以上で、無保険の生活保護受給者を対象に、特定健診と同内容の健診を指定医療機関にて実施。対象者に個別通知、希望者は申し込み。	柏市医師会	内臓脂肪症候群の予防、罹患している病状の安定や重症化予防への行動が取れるようにする。								受診者数 H24 H25 H26 H27 H28 132人 145人 210人 224人 239人 無保険者に対し、健康診査を実施した。平成29年度も同様に続実施している。	平成30年度も同様に継続予定である。 ※本事業は、健康診査が目的の第一である。対象者の特性から、フォローも慎重に進めていく必要がある。					
											受診者数							
保健所 地域健康づくり課	柏市地域栄養相談システム (*)	生活習慣病等で治療中の市民が、かかりつけ医の紹介により、市内の病院で管理栄養士の栄養指導が受けられるシステム。かかりつけ医での治療及び適切な食事療法を継続し、生活習慣病の重症化予防を図る。	柏市医師会 病院栄養士協議会(柏地区)	内臓脂肪症候群の予防、罹患している病状の安定や重症化予防への行動が取れるようにする。								利用者数(延数) H24 H25 H26 H27 H28 63人 101人 109人 98人 225人 病院栄養士協議会(柏地区)の協力により、塩分やエネルギーを控えたレシピを載せたリーフレットを作成。裏面には当システムの案内を掲載し、必要な市民が利用できるよう診療所等に配布し、周知を図っている。また、H28年度から柏市国保の特定健診記録票に当システム利用のチェック欄を設けた。医療機関での食事指導が必要な受診者に対し、医師の判断のもと、利用を促している。	当システムを必要な市民が利用できるよう関係部署、関係機関と連携し引き続き周知を図る。また、食に関する関係団体の協力を得ながら効果的にレシピを配布し、減塩やエネルギーを控えるコツ、当システムの紹介を行う事ができるようにする。					
											利用者数(延数)							

(2)定期的な健康診査の受診																																																																
⑧【再掲】柏市国民健康保険特定健康診査の受診率(法定報告)の増加																																																																
⑨【再掲】柏市国民健康保険特定保健指導の実施率(法定報告)の増加																																																																
⑩循環器疾患の指摘を受けたが、放置している人の割合の減少																																																																
所管課	事業名	事業概要 (対象者・内容等)	連携機関	期待する効果	ライフステージ					実績値 (実施回数・参加者数・参加率等)	平成28年度取り組みの成果、今後の課題と考察及び平成29年度の取り組みについて	平成30年度の方向性	委員の評価・アドバイス																																																			
					乳幼児期	学童期	思春期																																																									
市民生活部 保険年金課	柏市国民健康保険特定健康診査・特定保健指導(*)	<p><特定健康診査> 40歳以上の柏市国保加入者を対象に、生活習慣病予防を目的とした健診を実施。</p> <p><特定保健指導> 特定健診の結果よりメタボリックシンドロームのリスクのある対象者を抽出し、6か月間の生活習慣改善のための特定保健指導を実施。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・柏市医師会 ・ちば県民保健予防財団 ・人間ドック、脳ドック実施医療機関 ・JA(ちば東葛, 東葛ふたば, いちかわ) ・千葉県厚生農業共同組合連合会 ・沼南商工会 ・柏商工会議所 	生活習慣病の発症及び重症化の予防							<p>特定健康診査受診率(再掲)</p> <table border="1"> <tr> <td>H24</td> <td>H25</td> <td>H26</td> <td>H27</td> <td>H28</td> </tr> <tr> <td>38.2%</td> <td>40.0%</td> <td>40.8%</td> <td>42.0%</td> <td>11月1日以降確定</td> </tr> </table> <p>特定保健指導実施率(再掲)</p> <table border="1"> <tr> <td>18.3%</td> <td>18.9%</td> <td>15.0%</td> <td>20.1%</td> <td>同上</td> </tr> </table> <p>LDLコレステロールが¹140mg/dl以上の人の割合(40歳以上)</p> <table border="1"> <tr> <td>男性</td> <td>27.4%</td> <td>27.5%</td> <td>28.3%</td> <td>同上</td> </tr> <tr> <td>女性</td> <td>35.8%</td> <td>36.2%</td> <td>33.3%</td> <td>37.2%</td> <td>同上</td> </tr> </table> <p>収縮期血圧が¹140mmHg以上の人の割合(40歳以上)</p> <table border="1"> <tr> <td>男性</td> <td>27.5%</td> <td>26.8%</td> <td>27.2%</td> <td>27.0%</td> <td>同上</td> </tr> <tr> <td>女性</td> <td>22.2%</td> <td>22.2%</td> <td>21.8%</td> <td>22.6%</td> <td>同上</td> </tr> </table> <p>拡張期血圧が¹90mmHg以上の人の割合(40歳以上)</p> <table border="1"> <tr> <td>男性</td> <td>15.1%</td> <td>15.1%</td> <td>15.8%</td> <td>15.6%</td> <td>同上</td> </tr> <tr> <td>女性</td> <td>8.5%</td> <td>8.8%</td> <td>8.5%</td> <td>9.3%</td> <td>同上</td> </tr> </table>	H24	H25	H26	H27	H28	38.2%	40.0%	40.8%	42.0%	11月1日以降確定	18.3%	18.9%	15.0%	20.1%	同上	男性	27.4%	27.5%	28.3%	同上	女性	35.8%	36.2%	33.3%	37.2%	同上	男性	27.5%	26.8%	27.2%	27.0%	同上	女性	22.2%	22.2%	21.8%	22.6%	同上	男性	15.1%	15.1%	15.8%	15.6%	同上	女性	8.5%	8.8%	8.5%	9.3%	同上	<p>健診未受診者の過去の健診受診履歴や医科レセプトの状況をもとに、対象者の特定に応じた受診勧奨を実施し、受診率が上昇した。平成29年度も継続実施の予定。特定保健指導対象者への指導利用勧奨を積極的に行い、実施率が向上した。</p>	医療機関や衛生部門等、関係部署との連携により更に生活習慣病の発症、重症化予防の取り組みを推進する。	○ ○
					H24	H25	H26	H27	H28																																																							
					38.2%	40.0%	40.8%	42.0%	11月1日以降確定																																																							
					18.3%	18.9%	15.0%	20.1%	同上																																																							
					男性	27.4%	27.5%	28.3%	同上																																																							
					女性	35.8%	36.2%	33.3%	37.2%	同上																																																						
					男性	27.5%	26.8%	27.2%	27.0%	同上																																																						
					女性	22.2%	22.2%	21.8%	22.6%	同上																																																						
					男性	15.1%	15.1%	15.8%	15.6%	同上																																																						
					女性	8.5%	8.8%	8.5%	9.3%	同上																																																						

所管課	事業名	事業概要 (対象者・内容等)	連携機関	期待する効果	ライフステージ						実績値 (実施回数・参加者数・参加率等)	平成28年度取り組みの成果、今後の課題と考察及び平成29年度の取り組みについて	平成30年度の方向性	委員の評価・アドバイス					
					乳幼児期	学童期	思春期	成年期	壮年期	高齢期									
市民生活部 保険年金課	国保 保健事業利用費 助成事業 (18歳から39歳の健診) (*)	18歳以上の柏市国保被保険者に対し、申請に基づき保健事業利用券を年間8枚交付(1枚1,000円相当)。18歳から39歳の健診事業、はり等施術事業、お口のクリーニング事業に利用できる。18歳から39歳の健診事業は26年度からの新規事業。受診希望者に対し受診券を発行し、特定健診と同様の健診を実施する。	・柏市医師会	被保険者の健康の保持増進 若い世代からの生活習慣病予防						○	18歳から39歳の健診実施状況					平成28年度は郵送による受診勧奨を行ったことにより利用者が大幅に増加した。平成29年度も継続実施の予定。	18歳から39歳の健診の周知に努め、受診者数の増加を図る。健診結果で生活習慣病のリスクのある対象者に対し、保健指導及び医療機関受診勧奨を推進する。		
											H24	H25	H26	H27	H28				
											受診券発行数								
											未実施	未実施	72人	83人	237人				
受診者数					未実施	未実施	42人	53人	158人										
保健所 成人健診課	柏市健康診査 (無保険者) (*)	40歳以上で、無保険の生活保護受給者を対象に、特定健診と同内容の健診を指定医療機関にて実施。対象者に個別通知、希望者は申し込み。	柏市医師会	内臓脂肪症候群の予防、罹患している病状の安定や重症化予防への行動が取れるようにする。						○	○	受診者数					無保険者に対し、健康診査を実施した。平成29年度も同様に続実施している。	平成30年度も同様に継続予定である。 ※本事業は、健康診査が目的の第一である。対象者の特性から、フォローも慎重に進めていく必要がある。	
												H24	H25	H26	H27	H28			
												132人	145人	210人	224人	239人			

9. がん

(1)がんの発症を防ぐための生活習慣等に関する知識の普及																						
①がんによる死亡者数の減少																						
所管課	事業名	事業概要 (対象者・内容等)	連携機関	期待する効果	ライフステージ					実績値 (実施回数・参加者数・参加率等)					平成28年度取り組みの成果、今後の課題と考察及び平成29年度の取り組みについて	平成30年度の方向性	委員の評価・アドバイス					
					乳幼児期	学童期	思春期	成年期	壮年期	高齢期	H24	H25	H26	H27				H28				
保健所 総務企画課	がん対策	・がん対策検討会議(議員および庁内関係部署、がん診療連携拠点病院)の開催 ・議会への事業報告 ・保健衛生審議会への報告	庁内関係部署 がん診療連携拠点病院 医師会など	「柏市がん対策基本条例」に基づき関係機関との連携のもと、がん対策を効果的かつ効率的に推進	○	○	○	○	○	○	がん対策検討会議実施状況					・がん対策検討会議は4回実施した。がん診療連携拠点病院2ヶ所に加え平成28年度から千葉県がん診療連携協力病院1ヶ所も参加し、関係部署との情報共有を図った。平成29年度は、会議回数にこだわらず、テーマを絞ったコアメンバーによる勉強会や会議を実施する予定。 ・平成28年度はがんサポートハンドブックの大幅な改定を行い、情報の充実を図った。	平成29年度中に第3期のがん対策基本計画が策定されることから、それに沿った柏市での取り組みを検討していく。					
											H24	H25	H26	H27	H28				4回	4回	4回	3回
保健所 保健予防課 保健所 成人健診課	肝炎ウイルス検査	柏市民で、これまで肝炎ウイルス検査を受けたことがなく、他で検査を受ける機会のないかた、感染を心配するリスク行為があったかたを対象に検査を実施。	柏市医師会	肝炎ウイルス感染を早期に発見し、適切な検査・治療へつなぐことで、肝硬変や肝がんへの進行による重症化を防ぐ			○	○	○	○	肝炎ウイルス検査実施数					40～80歳の5歳刻みの年齢に個別勧奨を行った。	継続実施					
H24	H25	H26	H27	H28	1,444人	1,182人	7,685人	7,333人	6,725人													
保健所 成人健診課	新たなステージに入ったがん検診の総合支援事業(無料検診)	特定の年齢のかたに無料クーポン、検診手帳(啓発用)を送付し、該当するがん検診について、無料で受診することができる。対象となるがん検診は、大腸・乳、子宮頸がん検診。 精密検査未受診者に対する受診勧奨通知及び特定の年齢に達する対象者への受診勧奨を行う。	柏市医師会 ちば県民保健予防財団 医療センター	がん検診を受けるきっかけとして、今まで受診しなかった人が受診することで、受診率向上に寄与する。				○	○	クーポン利用率					子宮頸がん及び乳がん無料検診は、新規対象者とH25・26年度で実施したコールリコール事業により把握した未受診者について、対象年齢に無料クーポン券を発行した。平成29年度は新規対象者のみ(子宮頸がん:20歳、乳がん40歳)と変更された。 また、精密検査未受診者に対する受診勧奨及び特定の年齢に達する対象者への受診勧奨について継続する。	国の方針に応じて実施しているため、国の動きを把握しながら実施していく。						
										H24	H25	H26	H27	H28				12.8%	14.1%	9.6%	7.6%	廃止
										大腸がん								28.6%	25.3%	9.5%	16.0%	12.0%
										乳がん								23.0%	18.1%	8.1%	11.3%	4.6%
										子宮頸がん												
保健所 成人健診課	成人健診事業(健康づくり普及・啓発)	がん検診登録勧奨、がん予防の啓発を目的に、各種媒体を利用、特定の年齢・転入者等には個別通知。 モデル地域を設定し、健康講座の実施など重点的に普及啓発活動を行っている。	ふるさと協議会 柏市医師会 庁内関係部署 専門医療機関	新規登録者数の増加			△	○	○	○	新規登録者数(延人数)					第一生命株式会社と「健康づくりに係る包括連携協定」を締結し、リーフレット「かしわ健康メッセージ」を発行した。千葉県と共催でがん予防展、がん講演会を実施した。関係機関のイベントにおけるブース出展や高校生対象の健康教育、市内大学及び専門学校への子宮頸がんリーフレット設置を行っており、平成29年度も継続する。	若い世代への普及啓発活動を積極的に行っていく。					
											H24	H25	H26	H27	H28				23,546人	29,077人	26,129人	27,493人

(2)がん検診の受診																						
②胃がん検診受診率の増加																						
③大腸がん検診受診率の増加																						
④子宮がん検診受診率の増加																						
⑤乳がん検診受診率の増加																						
⑥結核・肺がん検診受診率の増加																						
所管課	事業名	事業概要 (対象者・内容等)	連携機関	期待する効果	ライフステージ					実績値 (実施回数・参加者数・参加率等)					平成28年度取り組みの成果、今後の課題と考察及び平成29年度の取り組みについて	平成30年度の方向性	委員の評価・アドバイス					
					乳幼児期	学童期	思春期	成年期	壮年期	高齢期	H24	H25	H26	H27				H28				
保健所 地域健康づくり課	啓発事業 (※)	イベント等の中で運動、食、タバコ等健康に関する啓発を実施。一般市民を対象とし、幅広いテーマについての啓発を行う。	庁内関係各課、柏市民健康づくり推進員、各種団体及び企業関係	幅広いライフステージの市民を対象にポピュレーションアプローチをすることで、健康に関する気づきの場を作る。	○	○	○	○	○	○	啓発実施者数(全数)					健康づくりやたばこするリーフレットを作成し、伝えたいことに的を絞って実施した。また、他課とも連携をし、それぞれの場を生かした啓発を行った。29年度も同様に行っていきたい。	継続して取り組む					
					-	-	6,109人	5,235人	4,869人	啓発実施者数(がん)												
					H24	H25	H26	H27	H28	がん検診受診率												
					-	-	924人	50人	900人	H24	H25	H26	H27	H28	胃がん検診							
										11.9%	11.1%	10.3%	9.8%	9.3%	大腸がん検診							
保健所 成人健診課	がん検診	「がん検診重点健康教育及びがん検診の実施のための指針」(厚生労働省)に基づき、胃、大腸、結核・肺、乳、子宮の各がん検診の実施。	柏市医師会 ちば県民保健 予防財団 医療センター	各がんの早期発見、早期治療に結びつける。				△	○	○	がん検診受診率					減少:胃がん検診、大腸がん検診 増加:子宮頸がん検診、乳がん検診、肺がん検診 受診率が増加している子宮頸がん、肺がん検診について、年度途中の未受診者に再勧奨通知を行った。平成29年度から乳がん検診の視触診検査を廃止した。国の指針に合わせ、胃がん検診の胃内視鏡検査導入、乳がん検診の逐年から隔年検診への移行及び40歳代の検査内容変更(マンモグラフィ1方向から2方向、超音波検査導入)に向け、柏市医師会と話し合いを進めている。	胃がん検診(胃内視鏡検査導入)及び乳がん検診(隔年検診への移行及び40歳代の検査内容変更)の制度改正を行う予定。その他の検診においても、国の動向を注視しながら継続実施する。					
					H24	H25	H26	H27	H28	胃がん検診												
										19.3%	19.4%	18.6%	19.9%	18.1%	子宮頸がん検診							
										23.3%	20.5%	29.5%	26.3%	28.4%	乳がん検診							
										29.6%	28.3%	29.1%	29.4%	30.7%	結核・肺がん検診							
										16.5%	16.0%	15.1%	15.8%	16.0%	クーポン利用率							
					H24	H25	H26	H27	H28	大腸がん												
										12.8%	14.1%	9.6%	7.6%	廃止	乳がん							
										28.6%	25.3%	9.5%	16.0%	12.0%	子宮頸がん							
										23.0%	18.1%	8.1%	11.3%	4.6%	また、精密検査未受診者に対する受診勧奨及び特定の年齢に達する対象者への受診勧奨について継続する。							
保健所 成人健診課	新たなステージに入ったがん検診の総合支援事業(無料検診) (*)	特定の年齢のかたに無料クーポン、検診手帳(啓発用)を送付し、該当するがん検診について、無料で受診することができる。対象となるがん検診は、大腸・乳、子宮頸がん検診。 精密検査未受診者に対する受診勧奨通知及び特定の年齢に達する対象者への受診勧奨を行う。	柏市医師会 ちば県民保健 予防財団 医療センター	がん検診を受けるきっかけとして、今まで受診したことがない人が受診することで、受診率向上に寄与する。				○	○		クーポン利用率					子宮頸がん及び乳がん無料検診は、新規対象者とH25・26年度で実施したコールリコール事業により把握した未受診者について、対象年齢に無料クーポン券を発行した。平成29年度は新規対象者のみ(子宮頸がん:20歳、乳がん40歳)と変更された。 また、精密検査未受診者に対する受診勧奨及び特定の年齢に達する対象者への受診勧奨について継続する。	国の方針に応じて実施しているため、国の動きを把握しながら実施していく。					
					H24	H25	H26	H27	H28	大腸がん												
										12.8%	14.1%	9.6%	7.6%	廃止	乳がん							
										28.6%	25.3%	9.5%	16.0%	12.0%	子宮頸がん							
										23.0%	18.1%	8.1%	11.3%	4.6%	また、精密検査未受診者に対する受診勧奨及び特定の年齢に達する対象者への受診勧奨について継続する。							